



ハードウェア リファレンス ガイド

HP EliteOne 800 G2 All-in-One Business PC
HP EliteOne 705 G2 All-in-One Business PC
HP ProOne 600 G2 All-in-One Business PC
HP ProOne 400 G2 All-in-One Business PC

© Copyright 2015 HP Development Company, L.P. 本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。

Windows は米国またはその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

HP 製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の限定的保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては、責任を負いかねますのでご了承ください。


本書には、著作権によって保護された所有権に関する情報が掲載されています。本書のいかなる部分も、HP Development Company の書面による承諾なしに複写、複製、あるいは他言語へ翻訳することはできません。


初版：2015年6月


製品番号：822874-291

このガイドについて

このガイドでは、このコンピューターの機能およびハードウェアのアップグレードについて説明します。

 **警告！** その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こすおそれがあるという警告事項を表します。

 **注意：** その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こすおそれがあるという注意事項を表します。

 **注記：** 重要な補足情報です。

目次

1 製品の特徴	1
概要	1
EliteOne 800	2
前面の各部	2
側面の各部	3
背面の各部	4
内部部品	5
EliteOne 705	6
前面の各部	6
側面の各部	7
背面の各部	8
内部部品	9
ProOne 600	10
前面の各部	10
側面の各部	11
背面の各部	12
内部部品	13
ProOne 400	14
前面の各部	14
側面の各部	15
背面の各部	16
内部部品	17
キーボードの機能	18
ラベル	18
2 セットアップ	20
概要	20
スタンドの取り付けおよび取り外し	20
リクライニングスタンドの取り付けおよび取り外し	21
リクライニングスタンドの取り付け	21
リクライニングスタンドの取り外し	21
高さ調節可能なスタンドの取り付けおよび取り外し	22
高さ調節可能なスタンドの取り付け	22
高さ調節可能なスタンドの取り外し	23
イーゼルスタンドの取り付けおよび取り外し	24

イーゼルスタンドの取り付け	24
イーゼルスタンドの取り外し	24
固定器具へのコンピューターの取り付け	25
ケーブルの接続および取り外し	27
ケーブルの接続	27
ディスプレイの接続	28
ケーブルの取り外し	29
背面コネクタカバーの取り外しおよび取り付け	30
背面コネクタカバーの取り外し	30
背面コネクタカバーの取り付け	31
コンピューターの位置調整	32
リクライニングスタンドの調整	32
高さ調節可能なスタンドの調整	33
イーゼルスタンドの調整	35
ロックケーブルの取り付け	35
電源の接続および切断	36
電源の接続	36
電源の切断	37
オプションの無線キーボードおよびマウスの同期	37

3 ハードウェアの修理およびアップグレード 40

警告および注意	40
追加情報	41
オプションの無線キーボードおよびマウスの電池の取り外し	41
メモリの取り外しおよび取り付け	42
SODIMM	42
SODIMM の仕様	42
SODIMM ソケットについて	43
SODIMM の取り付け	43
RTC 電池の交換	50
ドライブの交換	56
ハードディスクドライブの交換	56
2.5 インチハードディスクドライブの取り外し	56
2.5 インチハードディスクドライブの取り付け	59
オプティカルディスクドライブの交換	61

付録 A 静電気対策 66


静電気による損傷の防止	66
アース（接地）の方法	66

付録 B コンピューター操作のガイドラインおよび手入れと運搬時の注意	67
コンピューター操作のガイドラインおよび手入れに関する注意	67
オプティカルディスクドライブの使用上の注意	68
運搬時の注意	68
付録 C ユーザー サポート	69
サポートされている支援技術	69
HP のサポート窓口へのお問い合わせ	69
索引	70

1 製品の特徴

概要



 **注記:** この製品の最新の仕様またはその他の仕様について詳しくは、<http://www.hp.com/go/quickspecs/> (英語サイト) にアクセスして、該当するディスプレイモデルを検索し、モデル別の情報を参照してください。

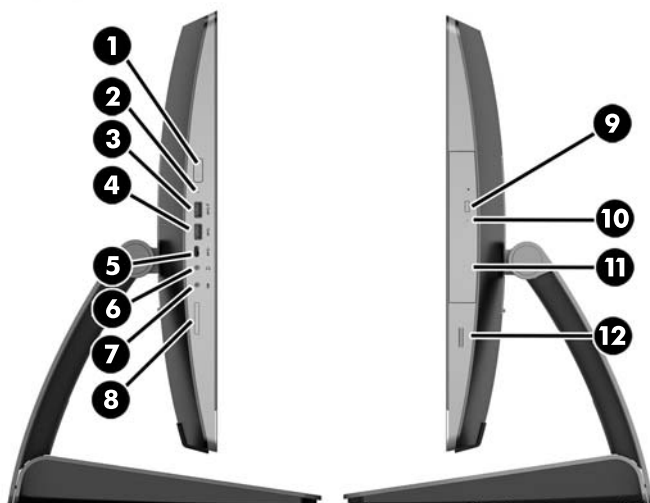
EliteOne 800

前面の各部



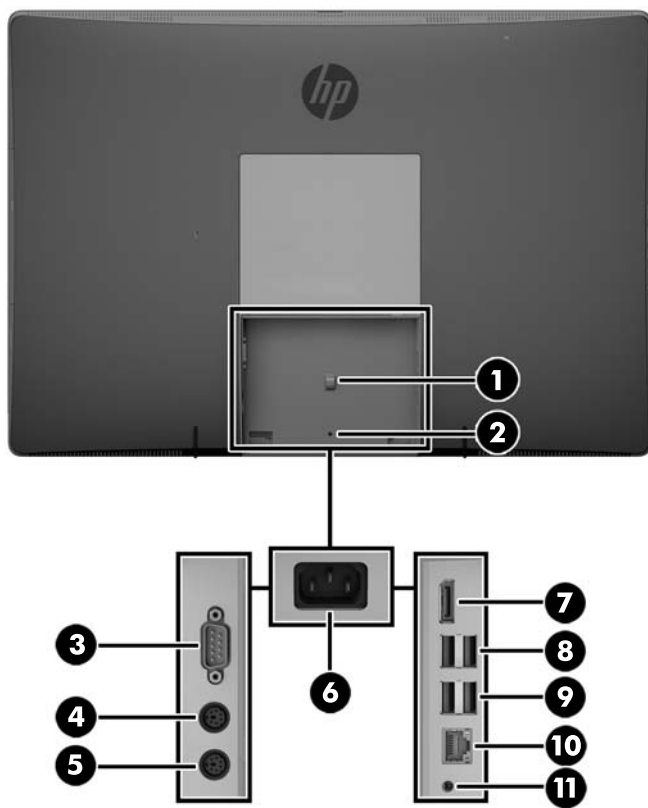
名称	名称
1 デュアルマイクアレイ (オプション)	4 Web カメラ (オプション)
2 Web カメラ動作ランプ (オプションの Web カメラ使用時)	5 16:9 ワイドスクリーンの LED バックライト LCD ディスプレイ
3 Web カメラ プライバシー シャッター スライド スイッチ	6 高性能ステレオ スピーカー

側面の各部



名称	名称
1 電源ボタン	7 マイク/ライン入力コネクタ
2 ハードディスクドライブ動作ランプ	8 HP SD メディアカードスロット (オプション)
3 急速充電機能付き USB 3.0 ポート	9 オプティカルディスク取り出しボタン
4 USB 3.0 ポート	10 オプティカルディスクドライブ動作ランプ
5 USB 3.0 タイプ C ポート	11 トレイ式オプティカルディスクドライブ
6 ヘッドセット/ライン出力コネクタ	12 指紋リーダー (タッチ対応モデルのみ)

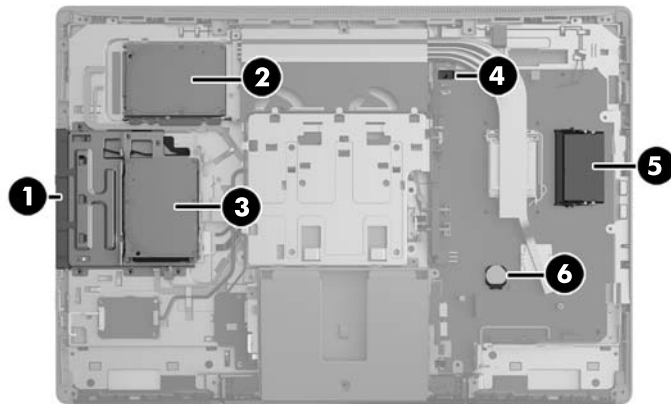
背面の各部



名称	名称
1 電源ケーブル固定ループ	7 DisplayPort
2 コネクタカバー セキュリティ ネジ取り付け用の穴	8 USB 3.0 ポート (×2)
3 シリアルコネクタ (オプション)	9 ウェイクアップ機能付き USB 3.0 ポート (×2) *
4 PS/2 キーボードコネクタ (オプション)	10 RJ-45 Gigabit Ethernet コネクタ
5 PS/2 マウスコネクタ (オプション)	11 ステレオオーディオライン出力
6 電源コネクタ	

*USB キーボードを使用する場合は、ウェイクアップ機能付き USB 3.0 ポートのどちらかにキーボードを接続することをおすすめします。BIOS F10 セットアップで有効になっている場合は、PS/2 コネクタでもウェイクアップ機能がサポートされます。

内部部品



名称	名称
1 オプティカルディスクドライブ	4 フードセンサー
2 セカンダリハードディスクドライブ	5 メモリ
3 メインハードディスクドライブ	6 RTC 電池

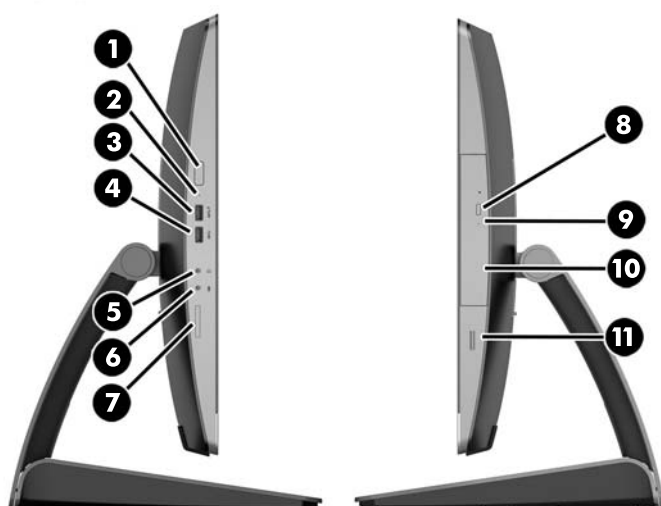
EliteOne 705

前面の各部



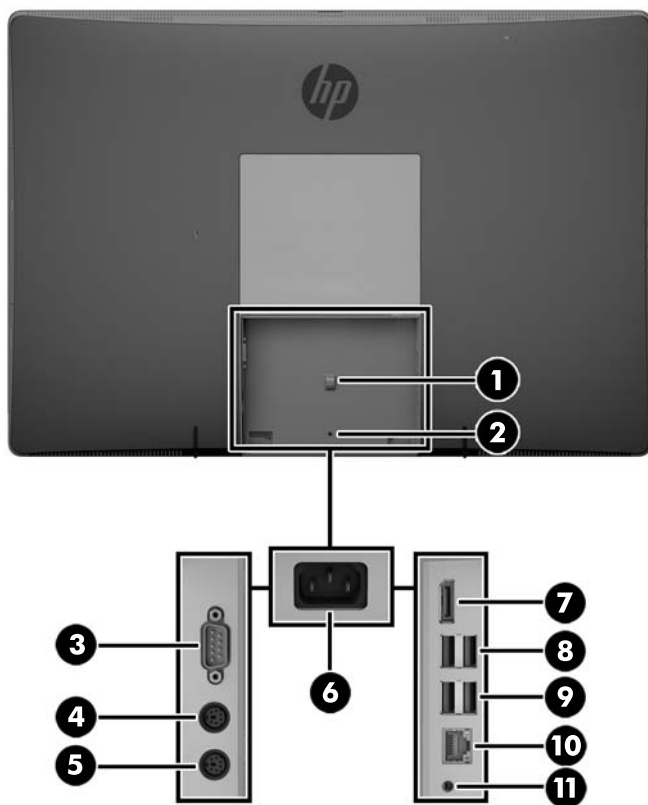
名称	名称
1 デュアルマイクアレイ (オプション)	4 Web カメラ (オプション)
2 Web カメラ動作ランプ (オプションの Web カメラ使用時)	5 16:9 ワイドスクリーンの LED バックライト LCD ディスプレイ
3 Web カメラ プライバシー シャッター スライド スイッチ	6 高性能ステレオ スピーカー

側面の各部



名称	名称
1 電源ボタン	7 HP SD メディアカードスロット (オプション)
2 ハードディスクドライブ動作ランプ	8 オプティカルディスク取り出しボタン
3 急速充電機能付き USB 3.0 ポート	9 オプティカルディスクドライブ動作ランプ
4 USB 3.0 ポート	10 トレイ式オプティカルディスクドライブ
5 ヘッドセット/ライン出力コネクタ	11 指紋リーダー (タッチ対応モデルのみ)
6 マイク/ライン入力コネクタ	

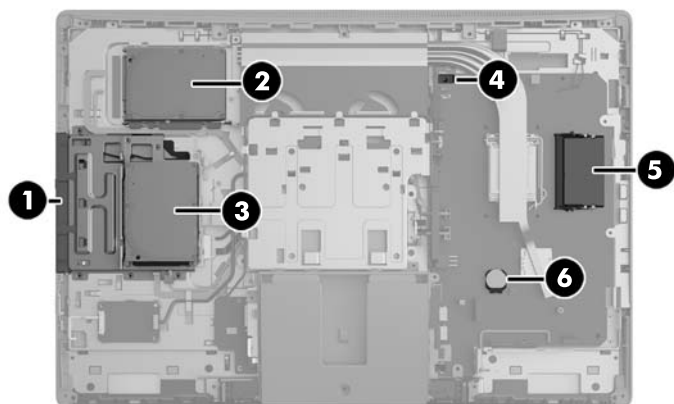
背面の各部



名称	名称
1 電源ケーブル固定ループ	7 DisplayPort
2 コネクタカバー セキュリティ ネジ取り付け用の穴	8 USB 3.0 ポート (×2)
3 シリアルコネクタ (オプション)	9 ウェイクアップ機能付き USB 2.0 ポート (×2) *
4 PS/2 キーボードコネクタ (オプション)	10 RJ-45 Gigabit Ethernet コネクタ
5 PS/2 マウスコネクタ (オプション)	11 ステレオ オーディオライン出力
6 電源コネクタ	

*USB キーボードを使用する場合は、ウェイクアップ機能付き USB 2.0 ポートのどちらかにキーボードを接続することをおすすめします。BIOS F10 セットアップで有効になっている場合は、PS/2 コネクタでもウェイクアップ機能がサポートされます。

内部部品



名称	名称
1 オプティカルディスクドライブ	4 フードセンサー
2 セカンダリハードディスクドライブ	5 メモリ
3 メインハードディスクドライブ	6 RTC 電池

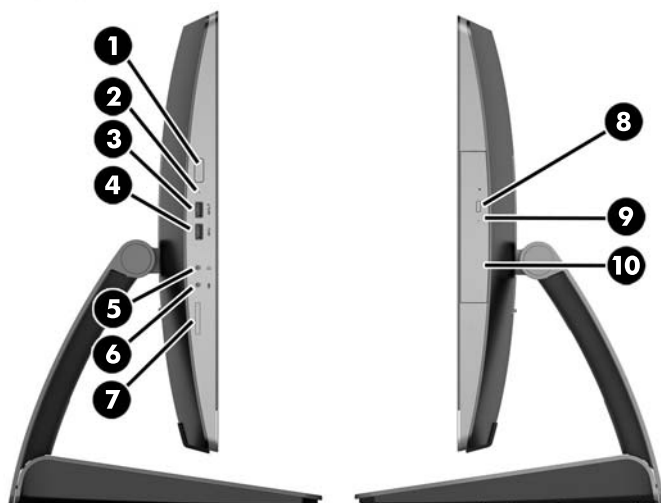
ProOne 600

前面の各部



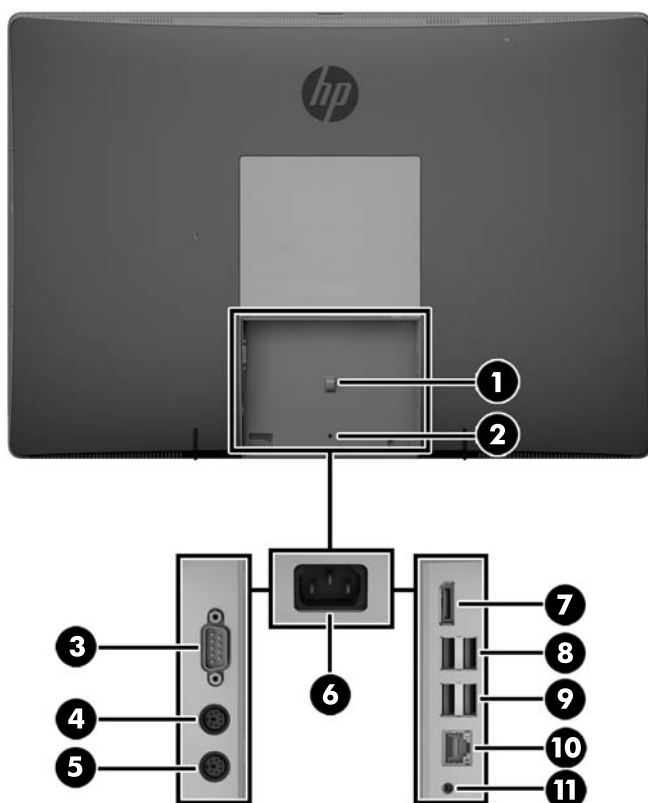
名称	名称
1 デュアルマイクアレイ (オプション)	4 Web カメラ (オプション)
2 Web カメラ動作ランプ (オプションの Web カメラ使用時)	5 16:9 ワイドスクリーンの LED バックライト LCD ディスプレイ
3 Web カメラ プライバシー シャッター スライド スイッチ	6 高性能ステレオ スピーカー

側面の各部



名称	名称
1 電源ボタン	6 マイク/ライン入力コネクタ
2 ハードディスクドライブ動作ランプ	7 HP SD メディアカードスロット (オプション)
3 急速充電機能付き USB 3.0 ポート	8 オプティカルディスク取り出しボタン
4 USB 3.0 ポート	9 オプティカルディスクドライブ動作ランプ
5 ヘッドセット/ライン出力コネクタ	10 トレイ式オプティカルディスクドライブ

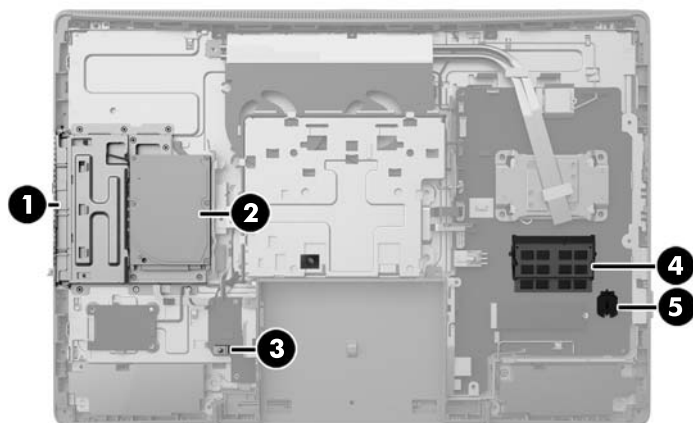
背面の各部



名称	名称
1 電源ケーブル固定ループ	7 DisplayPort
2 コネクタカバー セキュリティ ネジ取り付け用の穴	8 USB 3.0 ポート (×2)
3 シリアルコネクタ (オプション)	9 ウェイクアップ機能付き USB 3.0 ポート (×2) *
4 PS/2 キーボードコネクタ (オプション)	10 RJ-45 Gigabit Ethernet コネクタ
5 PS/2 マウスコネクタ (オプション)	11 ステレオ オーディオ ライン出力
6 電源コネクタ	

*USB キーボードを使用する場合は、ウェイクアップ機能付き USB 3.0 ポートのどちらかにキーボードを接続することをおすすめします。BIOS F10 セットアップで有効になっている場合は、PS/2 コネクタでもウェイクアップ機能がサポートされます。

内部部品



名称	名称
1 オプティカルディスクドライブ	4 メモリ
2 ハードディスクドライブ	5 RTC 電池
3 フードセンサー	

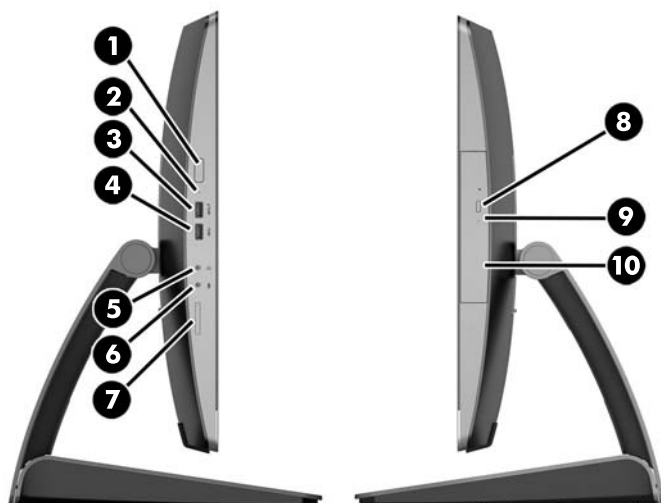
ProOne 400

前面の各部



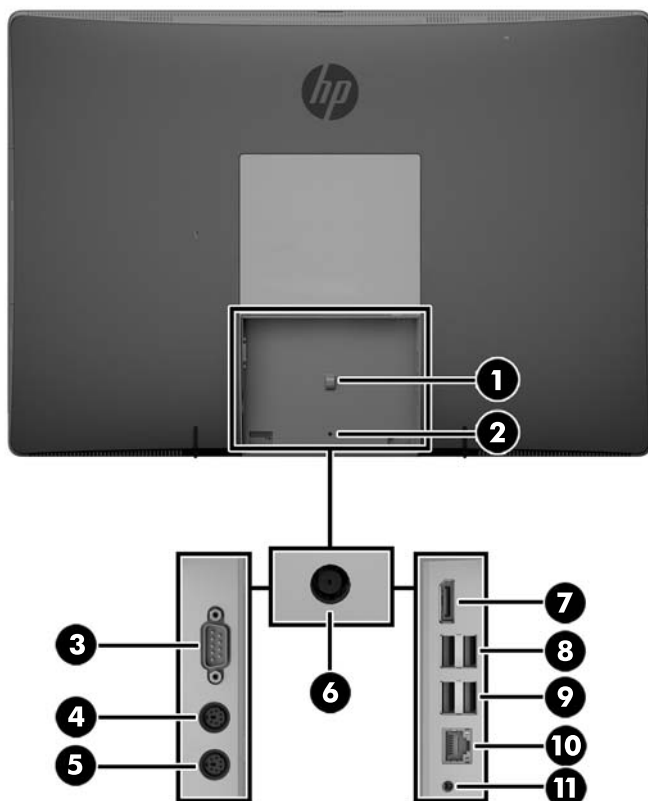
名称	名称
1 デュアルマイクアレイ (オプション)	4 Web カメラ (オプション)
2 Web カメラ動作ランプ (オプションの Web カメラ使用時)	5 16:9 ワイドスクリーンの LED バックライト LCD ディスプレイ
3 Web カメラ プライバシー シャッター スライド スイッチ	6 高性能ステレオ スピーカー

側面の各部



名称	名称
1 電源ボタン	6 マイク/ライン入力コネクタ
2 ハードディスクドライブ動作ランプ	7 HP SD メディアカードスロット (オプション)
3 急速充電機能付き USB 3.0 ポート	8 オプティカルディスク取り出しボタン
4 USB 3.0 ポート	9 オプティカルディスクドライブ動作ランプ
5 ヘッドセット/ライン出力コネクタ	10 トレイ式オプティカルディスクドライブ

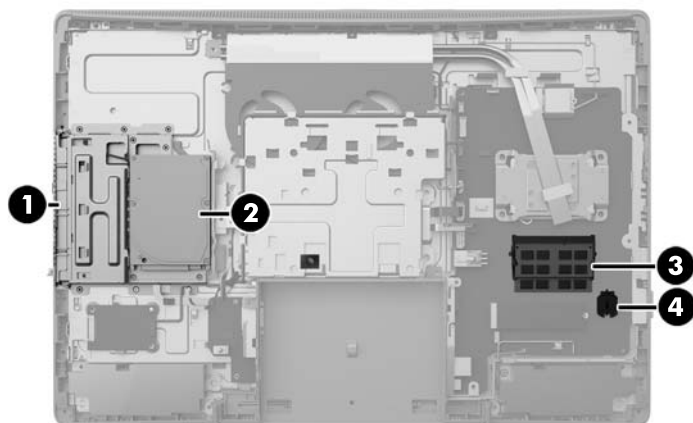
背面の各部



名称	名称
1 電源ケーブル固定ループ	7 DisplayPort
2 コネクタカバー セキュリティ ネジ取り付け用の穴	8 USB 3.0 ポート (×2)
3 シリアルコネクタ (オプション)	9 ウェイクアップ機能付き USB 2.0 ポート (×2) *
4 PS/2 キーボードコネクタ (オプション)	10 RJ-45 Gigabit Ethernet コネクタ
5 PS/2 マウスコネクタ (オプション)	11 ステレオ オーディオ ライン出力
6 電源コネクタ	

*USB キーボードを使用する場合は、ウェイクアップ機能付き USB 2.0 ポートのどちらかにキーボードを接続することをおすすめします。BIOS F10 セットアップで有効になっている場合は、PS/2 コネクタでもウェイクアップ機能がサポートされます。

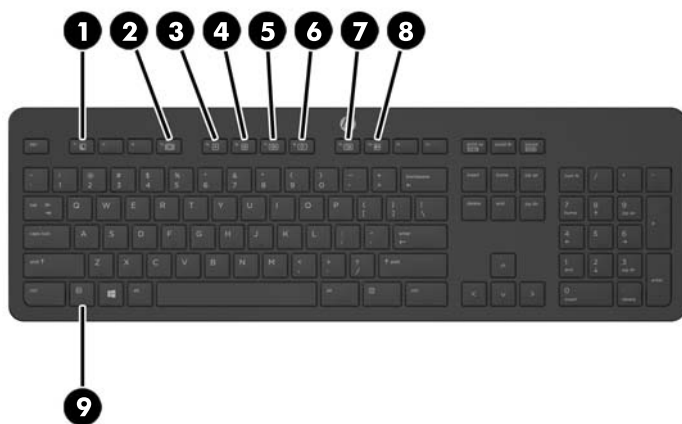
内部部品



名称	名称
1 オプティカルディスクドライブ	3 メモリ
2 ハードディスクドライブ	4 RTC 電池

キーボードの機能


 **注記：**下の図は英語版のキー配列です。日本語版とは配列および個別のキーの形が若干異なります。

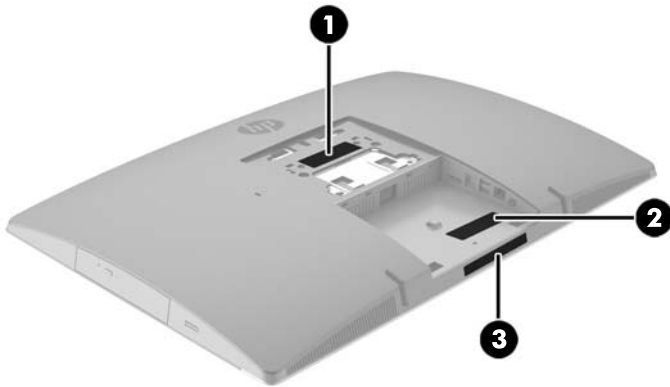


名称	名称
1 スリープ	6 音量ミュート（消音）
2 巻き戻し	7 音量ダウン
3 再生/一時停止	8 音量アップ
4 停止	9 ファンクション
5 早送り	


ラベル

コンピューターに貼付されているラベルには、システムの問題を解決するために問い合わせたり、コンピューターを日本国外で使用したりするときに必要な基本情報が記載されています。

 **重要：**このセクションで説明するすべてのラベルは、スタンドの下かコンピューターの底部に貼付されています。



1. Microsoft® Certificate of Authenticity ラベル（Windows 8 より前の一部のモデルのみ）：Windows のプロダクトキーが記載されています。プロダクトキーは、オペレーティングシステムのアップデートやトラブルシューティングのときに必要になる場合があります。Windows 8 または Windows 8.1 がプリインストールされている HP プラットフォームには紙のラベルはなく、電子的な Digital Product Key がインストールされています。

 **注記：** この Digital Product Key は、HP によって承認されている復元方法で Windows 8 または Windows 8.1 オペレーティングシステムを再インストールしたときに、Microsoft オペレーティングシステムによって自動的に認識され、有効になります。

2. サービスラベル：お使いのコンピューターを識別するための重要な情報が記載されています。HP のサポート窓口にお問い合わせになるときに、シリアル番号や、製品番号またはモデル番号を尋ねられることがあります。HP のサポート窓口にお問い合わせになる前に、これらの番号を確認しておいてください。



名称

(1) シリアル番号

(2) 製品番号

(3) 保証期間

3. シリアル番号ラベル

2 セットアップ

概要

以下の順序でコンピューターをセットアップします。

- スタンドを取り付けます。[20 ページのスタンドの取り付けおよび取り外し](#)を参照してください。
または
コンピューターを固定器具に取り付けます。[25 ページの固定器具へのコンピューターの取り付け](#)を参照してください。
- 周辺機器および電源用のケーブルを接続します。[27 ページのケーブルの接続および取り外し](#)を参照してください。
- 必要に応じて、追加のディスプレイを接続します。[28 ページのディスプレイの接続](#)を参照してください。
- 背面コネクタカバーを取り付けて固定します。[31 ページの背面コネクタカバーの取り付け](#)を参照してください。
- コンピューターの向きと表示角度を、見やすくなるように選択します。[32 ページのコンピューターの位置調整](#)を参照してください。
- セキュリティロックケーブルを取り付けます。[35 ページのロックケーブルの取り付け](#)を参照してください。
- 電源を入れます [36 ページの電源の接続](#)を参照してください。
- マウスおよびキーボードは工場出荷時に同期されています。マウスとキーボードを同期しなおす必要がある場合、[37 ページのオプションの無線キーボードおよびマウスの同期](#)を参照してください。

スタンドの取り付けおよび取り外し

このコンピューターでは、以下の3つのスタンドが利用できます。

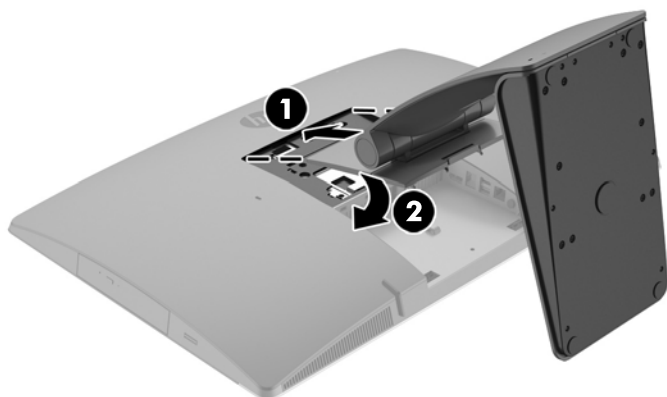
- [リクライニングスタンドの取り付けおよび取り外し](#)
- [高さ調節可能なスタンドの取り付けおよび取り外し](#)
- [イーゼルスタンドの取り付けおよび取り外し](#)

リクライニング スタンドの取り付けおよび取り外し

リクライニング スタンドの取り付け

スタンドを取り付けるには、以下の操作を行います。

1. コンピューターの前面を下向きにして安定した平らな場所に置きます。パネルおよび画面を傷やその他の損傷から守るため、下に毛布やタオル等の柔らかい布を敷くことをおすすめします。
2. スタンド上部のフックを、コンピューターの背面上部の2つの大きな穴にはめ込みます (1)。
3. スタンドをコンピューターに向けて押し下げ、カチッというまで押し込みます (2)。



リクライニング スタンドの取り外し

スタンドを取り外すには、以下の操作を行います。

1. オプティカルディスクやUSBフラッシュドライブなどのすべてのリムーバブルメディアをコンピューターから取り出します。
2. オペレーティングシステムを適切な手順でシャットダウンしてコンピューターの電源を切り、外付けデバイスの電源もすべて切ります。
3. 電源コードを電源コンセントから抜き、コンピューターからすべての外付けデバイスを取り外します。
4. コンピューターの前面を下向きにして安定した平らな場所に置きます。パネルおよび画面を傷やその他の損傷から守るため、下に毛布やタオル等の柔らかい布を敷くことをおすすめします。
5. 背面コネクタカバーを取り付けている場合は、取り外します。詳しくは、[30ページの背面コネクタカバーの取り外し](#)を参照してください。
6. スタンドの下にあるリリースラッチを押します (1)。

7. スタンドを持ち上げて (2)、スタンドのフックをコンピューターから引き抜きます (3)。

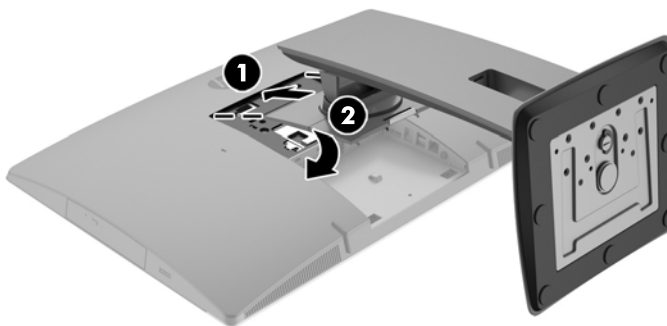


高さ調節可能なスタンドの取り付けおよび取り外し

高さ調節可能なスタンドの取り付け

スタンドを取り付けるには、以下の操作を行います。

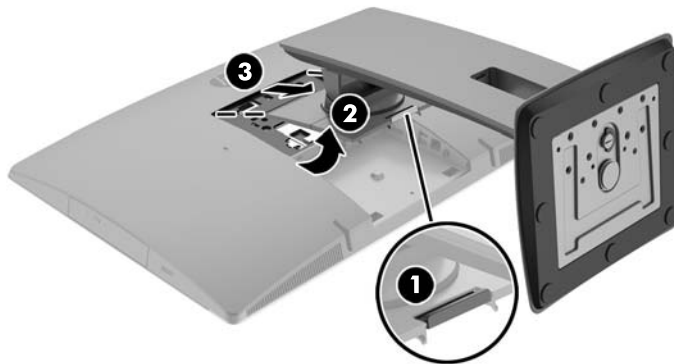
1. コンピューターの前面を下向きにして安定した平らな場所に置きます。パネルおよび画面を傷やその他の損傷から守るため、下に毛布やタオル等の柔らかい布を敷くことをおすすめします。
2. スタンド上部のフックを、コンピューターの背面上部の2つの大きな穴にはめ込みます (1)。
3. スタンドをコンピューターに押し下げ (2)、カチッというまで押し込みます (3)。



高さ調節可能なスタンドの取り外し

スタンドを取り外すには、以下の操作を行います。

1. オプティカルディスクやUSBフラッシュドライブなどのすべてのリムーバブルメディアをコンピューターから取り出します。
2. オペレーティングシステムを適切な手順でシャットダウンしてコンピューターの電源を切り、外付けデバイスの電源もすべて切ります。
3. 電源コードを電源コンセントから抜き、コンピューターからすべての外付けデバイスを取り外します。
4. コンピューターの前面を下向きにして安定した平らな場所に置きます。パネルおよび画面を傷やその他の損傷から守るため、下に毛布やタオル等の柔らかい布を敷くことをおすすめします。
5. 背面コネクタカバーを取り付けている場合は、取り外します。詳しくは、[30ページの背面コネクタカバーの取り外し](#)を参照してください。
6. スタンドの下にあるリリースラッチを押します (1)。
7. スタンドを持ち上げて (2)、スタンドのフックをコンピューターから引き抜きます (3)。

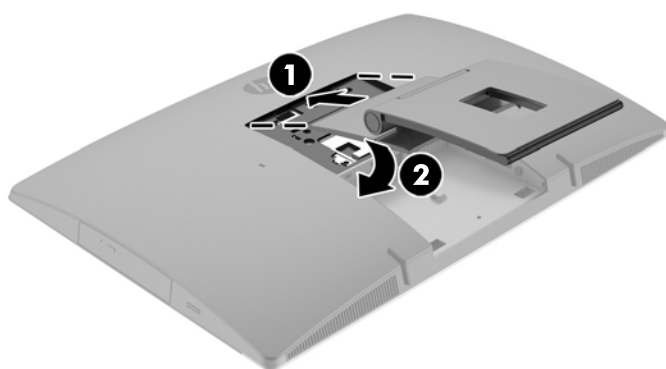


イーゼルスタンドの取り付けおよび取り外し

イーゼルスタンドの取り付け

スタンドを取り付けるには、以下の操作を行います。

1. コンピューターの前面を下向きにして安定した平らな場所に置きます。パネルおよび画面を傷やその他の損傷から守るため、下に毛布やタオル等の柔らかい布を敷くことをおすすめします。
2. スタンド上部のフックを、コンピューターの背面上部の2つの大きな穴にはめ込みます (1)。
3. スタンドをコンピューターに向けて押し下げ、カチッというまで押し込みます (2)。

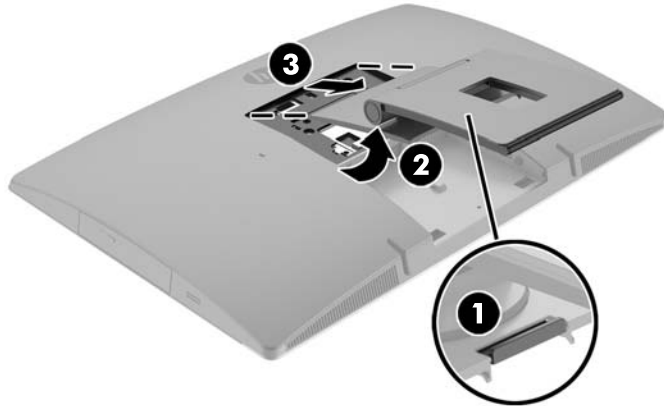


イーゼルスタンドの取り外し

スタンドを取り外すには、以下の操作を行います。


1. オプティカルディスクやUSBフラッシュドライブなどのすべてのリムーバブルメディアをコンピューターから取り出します。
2. オペレーティングシステムを適切な手順でシャットダウンしてコンピューターの電源を切り、外付けデバイスの電源もすべて切ります。
3. 電源コードを電源コンセントから抜き、コンピューターからすべての外付けデバイスを取り外します。
4. コンピューターの前面を下向きにして安定した平らな場所に置きます。パネルおよび画面を傷やその他の損傷から守るため、下に毛布やタオル等の柔らかい布を敷くことをおすすめします。
5. 背面コネクタカバーを取り付けている場合は、取り外します。詳しくは、[30ページの背面コネクタカバーの取り外し](#)を参照してください。
6. スタンドの下にあるリリースラッチを押します (1)。

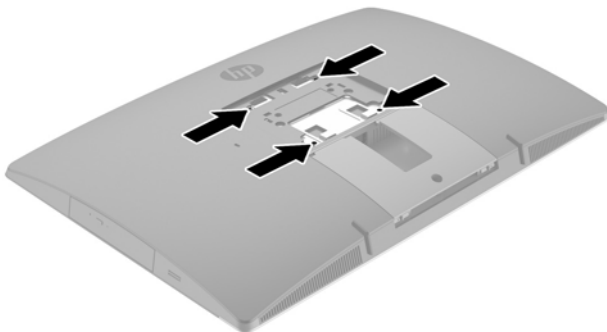
7. スタンドを持ち上げて (2)、スタンドのフックをコンピューターから引き抜きます (3)。



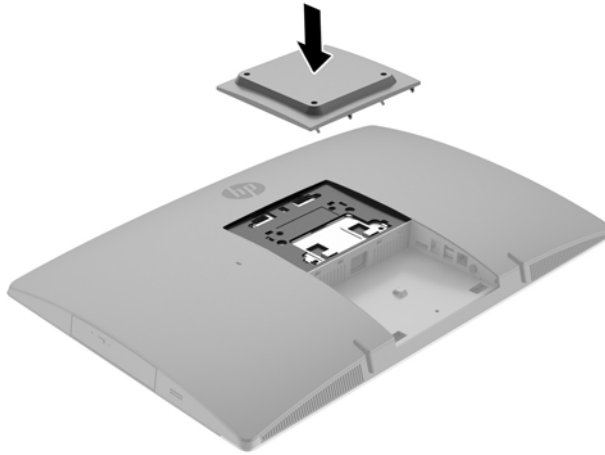
固定器具へのコンピューターの取り付け

コンピューターを、壁、スイングアーム、またはその他の固定器具に取り付けることができます。

 **注記：**この装置は、UL または CSA 規格に適合した取り付け器具で支えられるように設計されています。



1. VESA 準拠の付属のトリム プレートが正しい位置に固定されるまで、VESA 準拠の開口部に押しつけます。



2. コンピューターをスイングアーム（別売）に取り付けるには、コンピューターに付属する4本の20 mm ネジを、スイングアームプレートにある穴に通してからコンピューターのネジ穴に差し込みます。

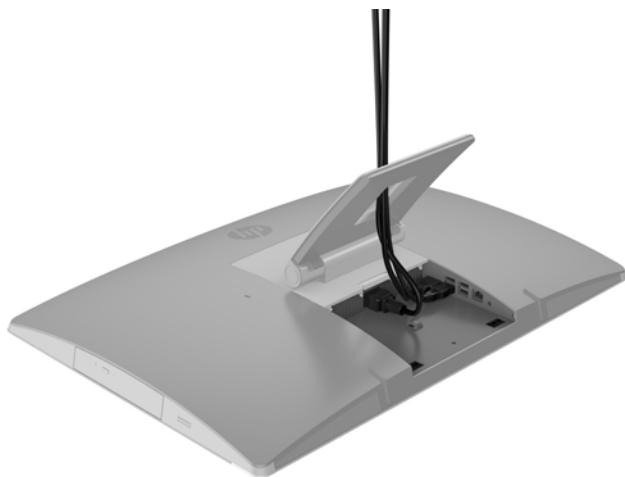
△注意：このコンピューターは、VESA 準拠の 100 mm 間隔の取り付け穴をサポートします。このコンピューターに他社製の固定器具を取り付けるには、4 mm、0.7 ピッチのネジ穴が4個ある器具で、長さ 20 mm のネジを使用する必要があります。これらのネジは、コンピューターに付属しています。これより長いネジは、コンピューターを損傷するおそれがありますので使用しないでください。また、取り付ける固定器具が VESA 基準に準拠していることと、コンピューターの質量を支えられる仕様になっていることを確認してください。最適な状態で使用するには、コンピューターに付属の電源コードおよびその他のケーブルを使用してください。

コンピューターを他の固定器具に取り付けるには、固定器具に付属の説明書に沿って操作して、コンピューターを安全に取り付けてください。

ケーブルの接続および取り外し

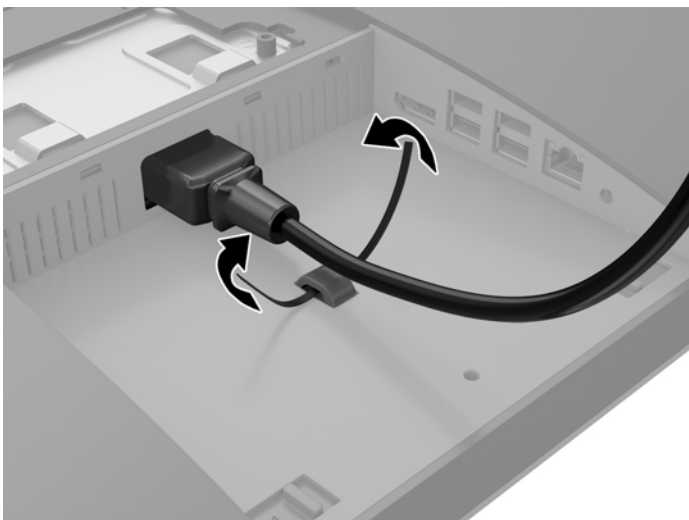
ケーブルの接続

1. コンピューターの前面を下向きにして安定した平らな場所に置きます。パネルおよび画面を傷やその他の損傷から守るため、下に毛布やタオル等の柔らかい布を敷くことをおすすめします。
2. 背面コネクタカバーを取り付けている場合は、取り外します。
3. 電源ケーブルおよび周辺機器のケーブルがスタンド台の開口部を通るように配線します。

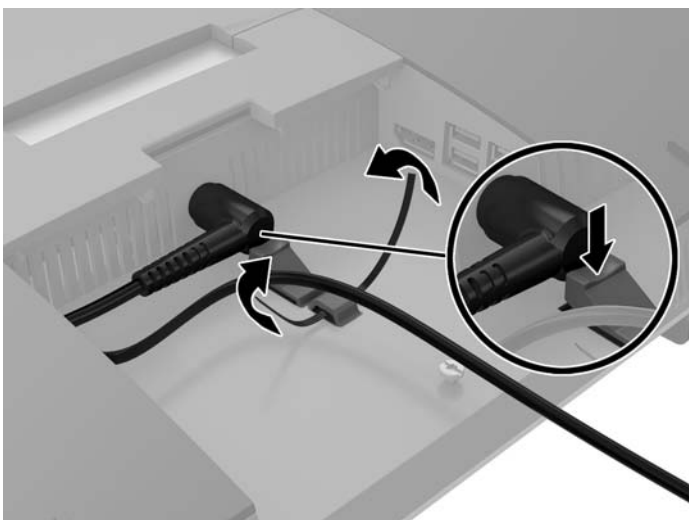


4. 周辺機器のケーブルを適切なコネクタに接続します。
5. 外部電源コードをコンピューター背面の電源コネクタに差し込みます。

6. 必要に応じて、電源コードを固定するために、電源ケーブル固定ループにワイヤータイ（別売）を通して使用できます。



お使いのモデルのコンピューターが ProOne 400 の場合は、所定の位置に固定されるまでプラグを電源コネクタの下にあるスロットに押し込むとしっかり固定できます。



ディスプレイの接続

コンピューターの背面の DisplayPort を使用すると、ディスプレイをコンピューターに接続できます。


追加するディスプレイに DisplayPort が装備されている場合は、DisplayPort ビデオアダプターは必要ありません。追加するディスプレイに DisplayPort が装備されていない場合は、お使いの構成に適した DisplayPort ビデオアダプターを HP から購入できます。オプションの DisplayPort ビデオアダプターは一部の国または地域でのみ利用可能です。

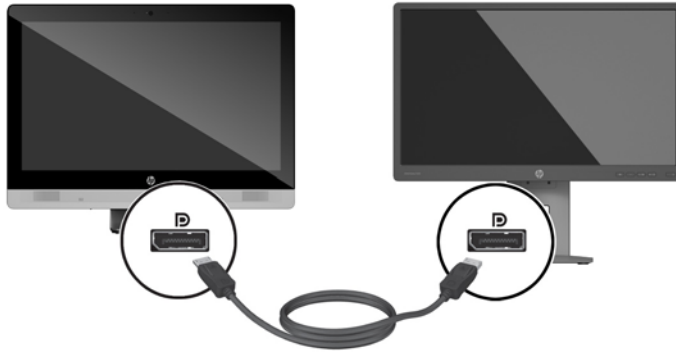
DisplayPort アダプターおよびビデオケーブルは別売です。HP では、以下のアダプターを提供しています。

- DisplayPort - VGA アダプター
- DisplayPort - DVI アダプター
- DisplayPort - HDMI アダプター


ディスプレイを接続するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターおよびコンピューターに接続するディスプレイの電源を切ります。
2. コンピューターの背面コネクタ カバーを取り外します。
3. ディスプレイに DisplayPort が備わっている場合は、コンピューター背面の DisplayPort とディスプレイの DisplayPort を DisplayPort ケーブルで直接接続します。
4. ディスプレイに DisplayPort が装備されていない場合は、DisplayPort ビデオ アダプターをコンピューターの DisplayPort に接続します。次に、アダプターとディスプレイの間を構成等に応じて VGA、DVI、または HDMI ケーブルで接続します。

 **注記：** DisplayPort アダプターを使用する場合、背面コネクタ カバーを取り付けるには、アダプターとともに DisplayPort 延長用ケーブルも使用する必要があります。



5. コンピューターの背面コネクタ カバーを取り付けなおします。
6. コンピューターおよびディスプレイの電源を入れます。

 **注記：** グラフィックスカードのソフトウェアまたは Windows の[画面の設定]を使用して、ディスプレイにコンピューターのディスプレイと同じ画面を表示するか、コンピューターディスプレイの画面を広げるように設定できます。

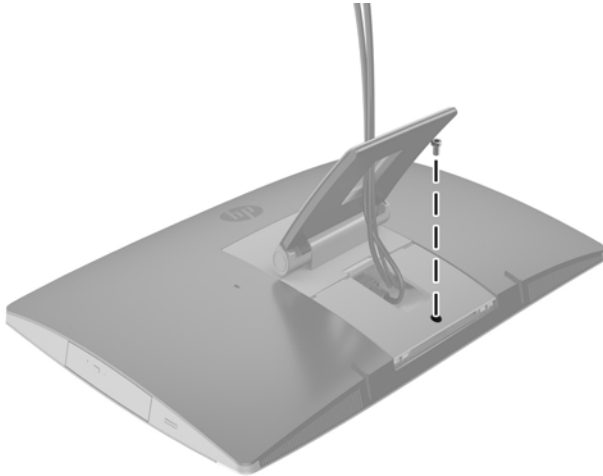
ケーブルの取り外し

1. コンピューター背面にロック ケーブルを取り付けている場合は、ロック ケーブルを取り外す必要があることがあります。
2. コンピューターの前面を下向きにして安定した平らな場所に置きます。パネルおよび画面を傷やその他の損傷から守るため、下に毛布やタオル等の柔らかい布を敷くことをおすすめします。
3. 背面コネクタ カバーを取り付けている場合は、取り外します。
4. コネクタからケーブルを取り外します。

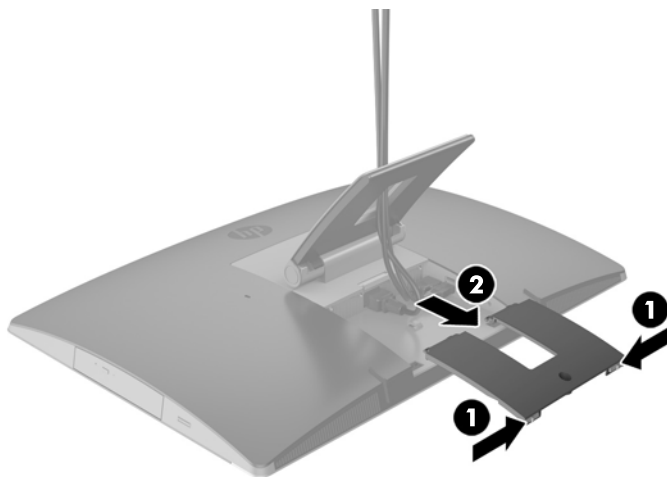
背面コネクタ カバーの取り外しおよび取り付け

背面コネクタ カバーの取り外し

1. コンピューターの前面を下向きにして安定した平らな場所に置きます。パネルおよび画面を傷やその他の損傷から守るため、下に毛布やタオル等の柔らかい布を敷くことをおすすめします。
2. セキュリティロックネジが固定されている場合は、不正開封防止ネジ用ドライバー（T15）でネジを取り外します。

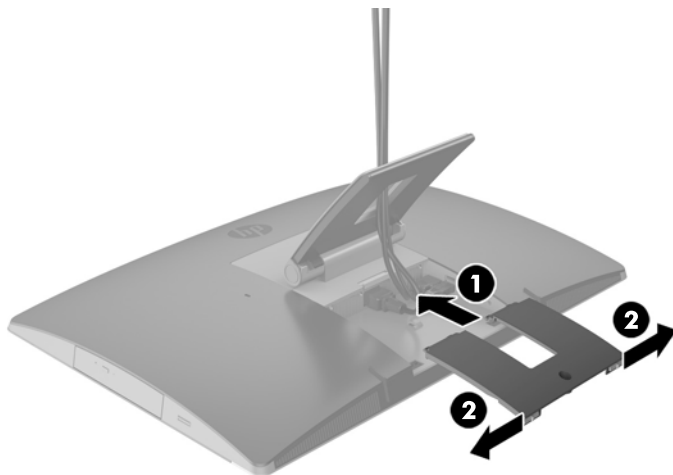


3. 2つのタブを両側から向かい合うように押し、コネクタカバーをシャーシから外します (1)。
4. コネクタカバーを引き下げてコンピューターから取り外します (2)。

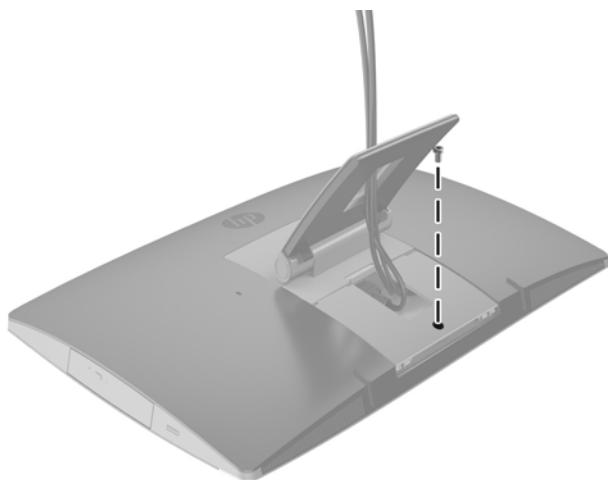


背面コネクタカバーの取り付け

1. すべてのケーブルが接続されていることを確認します。
2. コンピューターと平行になるようにコネクタカバーを持ち、コネクタカバーの2つのタブを背面コネクタコンパートメントの上部にあるスロットに合わせます。
3. カチッという音がしてタブが固定されるまで、コネクタカバーをスライドさせます (1)。
4. コネクタカバーがロックされるまでラッチを押し広げます (2)。



5. 背面コネクタカバーを固定することにより、内部の部品およびコネクタへのアクセスを防ぐことができます。不正開封防止ネジ用ドライバー (T15) を使用して、固定用ネジをシャーシに固定します。



コンピューターの位置調整

このコンピューターは、リクライニングスタンド、傾斜/回転角度および高さが調節できるスタンド、またはイーゼルスタンドが取り付けられた状態で出荷されます。

- [リクライニングスタンドの調整](#)
- [高さ調節可能なスタンドの調整](#)
- [イーゼルスタンドの調整](#)

リクライニングスタンドの調整

△注意：ロックケーブルが取り付けられている場合は、コンピューターのリクライニングを慎重に行ってください。ケーブルまたはロックが、回転やリクライニングの角度調整の妨げとなることがあります。

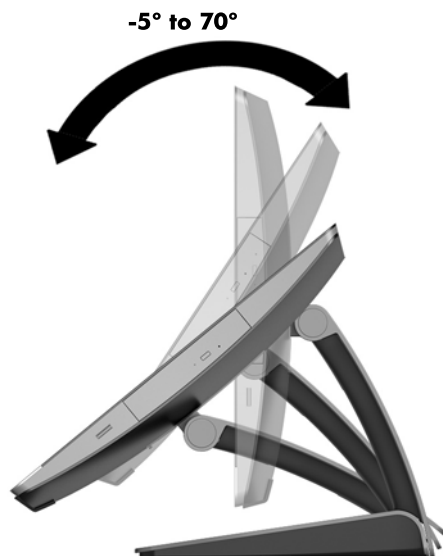
このスタンドでは、リクライニングの位置から直立する位置までコンピューターの位置を変えることができます。

コンピューターの位置をリクライニングの位置から直立する位置に調整するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターの上部と下部の両方をつかみ、コンピューターをもっとも高い位置まで引き上げます。
2. コンピューターの下部を押し下げて、適切な傾斜角度になるよう調整します。

コンピューターの位置を直立する位置からリクライニングの位置に調整するには、以下の操作を行います。

1. コンピューターの下部を上部と同じ高さになるまで引き上げます。
2. コンピューターの上部と下部の両方をつかみ、目的の高さまでコンピューターを押し下げます。



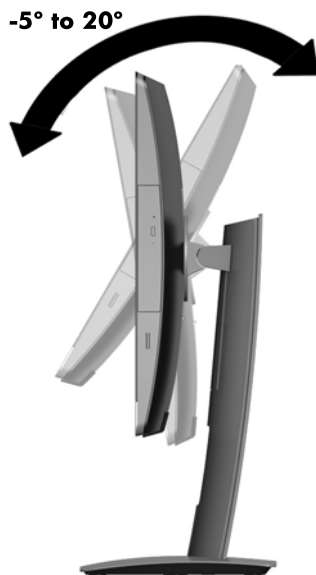
高さ調節可能なスタンドの調整

⚠ **注意**：ロックケーブルが取り付けられている場合は、コンピューターの回転またはリクライニングを慎重に行ってください。ケーブルまたはロックが、回転やリクライニングの角度調整の妨げとなることがあります。

このスタンドでは、以下の操作ができます。

- コンピューターをデスクトップの位置から-5°~20°まで傾斜させる
- コンピューターの高さを上下 11 cm の範囲で調節する
- コンピューターの向きを横向きから縦向きに回転する

コンピューターの傾斜角度を調整するには、コンピューターの上部と下部をつかみ、適切な傾斜角度に調整します。



コンピューターの高さを変更するには、コンピューターの両方の側面をつかみ、適切な高さまで持ち上げるか引き下げます。

コンピューターのリクライニングを行うには、以下の操作を行います。

📌 **重要**：ロックケーブルが取り付けられている場合、縦向きモードでのリクライニングには制限があります。

1. スタンドを机の縁まで移動させます。

2. コンピューターの両方の側面をつかみ、コンピューターを目的の位置まで下げます。

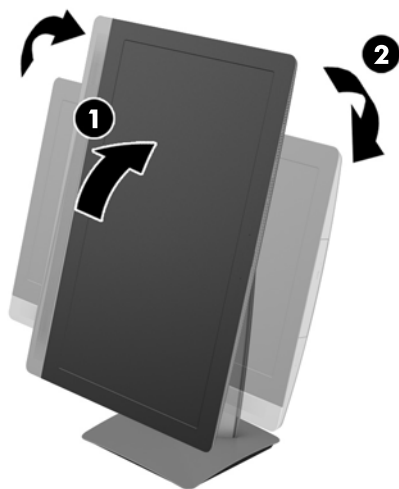


3. コンピューターの上部と下部の両方をつかみ、目的の傾斜角度になるようコンピューターの傾斜角度を調整します。

△注意：コンピューターの縦横の向きを変更する場合、コンピューターの前面にある HP のロゴが下側または右側になるようにしてください。

画面を横向きから縦向きに変更するには、以下の操作を行います。

1. 空間を確保するために、コンピューターをもっとも高い位置まで引き上げます。
2. コンピューターの右上および左下の隅をつかみ、コンピューターが縦向きの位置になるまで左下隅を引き上げます。



画面を縦向きから横向きに変更するには、以下の操作を行います。

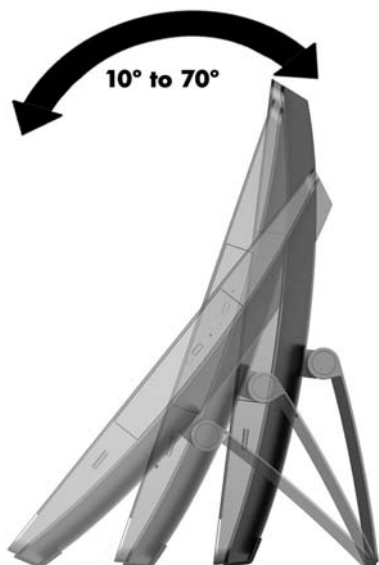
1. 空間を確保するために、コンピューターをもっとも高い位置まで引き上げます。
2. コンピューターの左上および右下の隅をつかみ、コンピューターが横向きの位置になるまで右下隅を引き上げます。

イーゼルスタンドの調整

この可動式スタンドでは、コンピューターを 10°~70°傾けて、見やすい高さに設定できます。

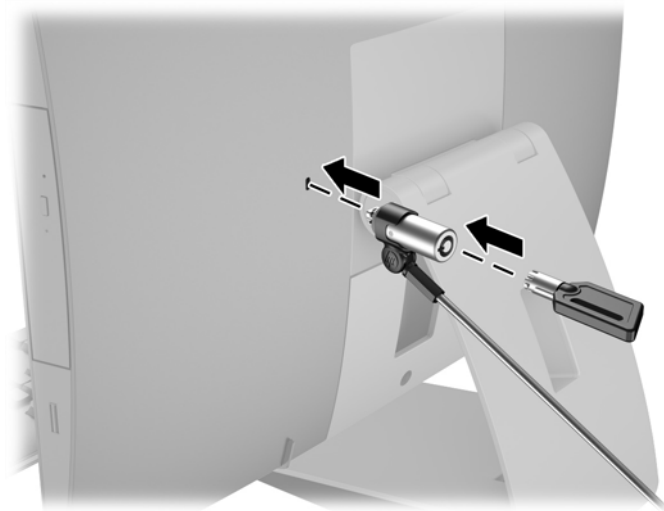
△ 注意：イーゼルを調整するときは、コンピューターが転倒しないようにコンピューターをしっかり持ってください。

コンピューターの両側をつかみ、コンピューターの上部を押し下げてスタンドを開き、傾斜角度を大きくします。コンピューターの上部を持ち上げてスタンドを狭め、傾斜角度を小さくします。



ロックケーブルの取り付け

ロックケーブルは、鍵でロックするワイヤーケーブル付きのデバイスです。ケーブルの一方の端をデスク（またはその他の固定物）に取り付け、もう一方の端をコンピューターのセキュリティロックケーブル用スロットに取り付けます。鍵をかけて、ロックケーブルを固定します。

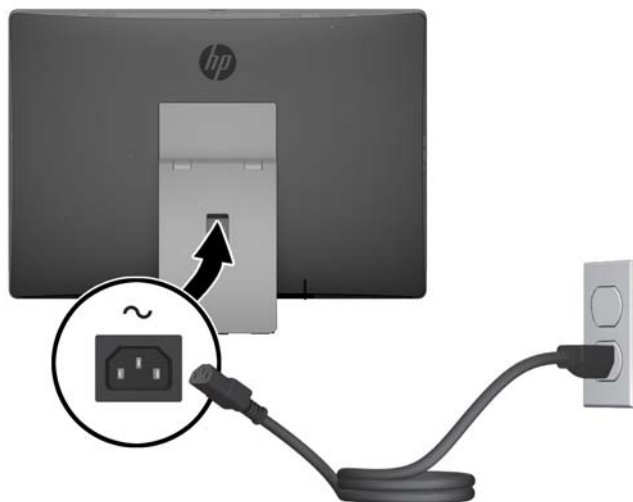


△ 注意：ロックケーブルが取り付けられている場合は、コンピューターの回転またはリクライニングを慎重に行ってください。ケーブルまたはロックが、回転やリクライニングの角度調整の妨げとなる場合があります。

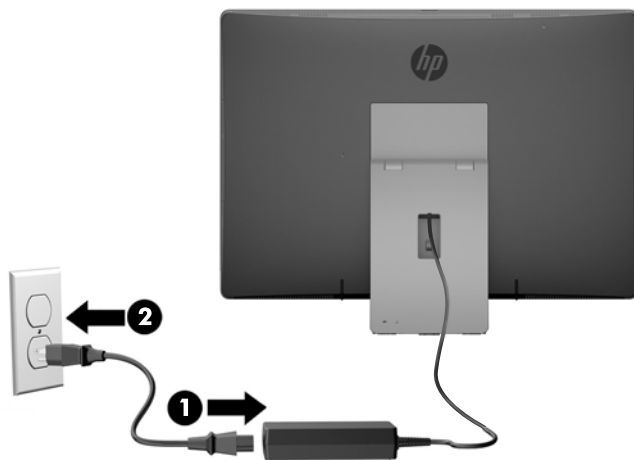
電源の接続および切断

電源の接続

1. EliteOne 800、EliteOne 705、または ProOne 600 の場合、外部電源プラグを電源コンセントに差し込みます。



2. ProOne 400 の場合は、以下の操作を行います。
 - a. 電源コードのメス型コネクタを電源用アダプターに差し込みます (1)。
 - b. 電源プラグを電源コンセントに差し込みます (2)。



3. コンピューターの側面にある電源ボタンを押してコンピューターの電源を入れます。

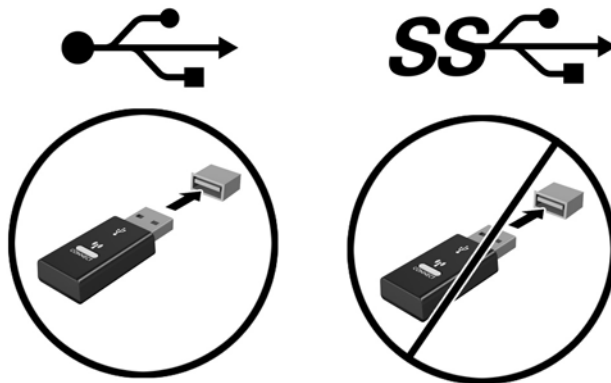
電源の切断

1. オプティカルディスクや USB フラッシュドライブなどのすべてのリムーバブルメディアをコンピュータから取り出します。
2. オペレーティングシステムを適切な手順でシャットダウンしてコンピュータの電源を切り、外付けデバイスの電源もすべて切ります。
3. 電源コードを電源コンセントから抜き、コンピュータからすべての外付けデバイスを取り外します。

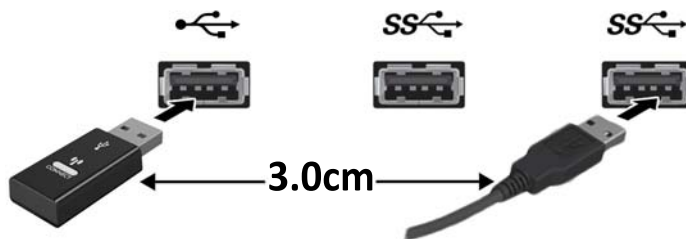
オプションの無線キーボードおよびマウスの同期

マウスおよびキーボードは工場出荷時に同期されています。これらが動作しない場合、電池を取り外して交換します。それでもマウスおよびキーボードが同期されない場合は、以下の操作を行って、ペアリングを手動で同期しなおしてください。

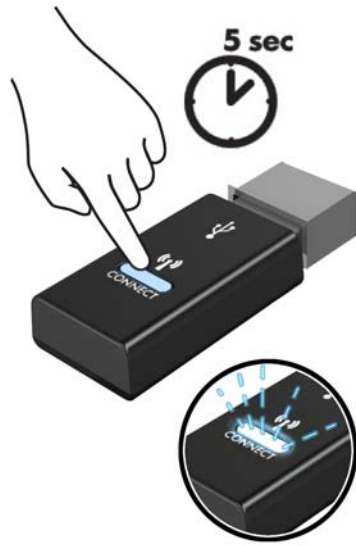
- 1.



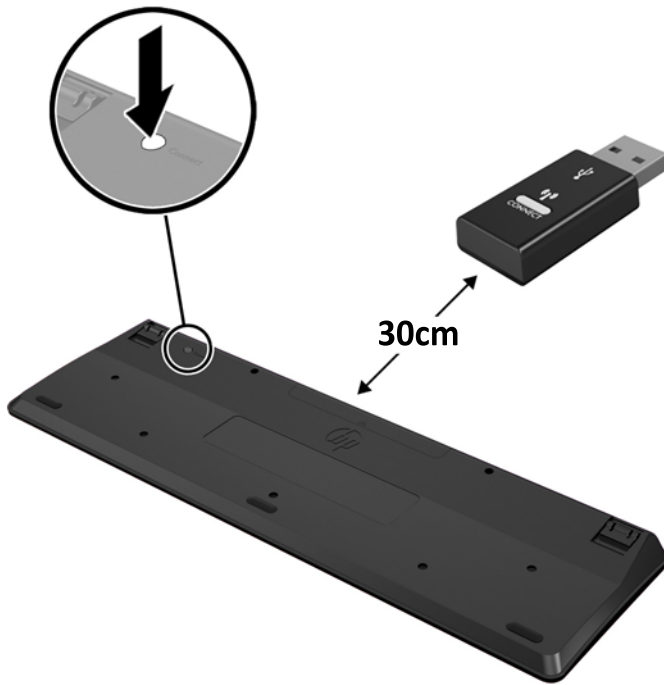
- 2.



3.




4.



5.



 **注記:** それでもマウスおよびキーボードが動作しない場合は、電池を取り外して交換します。それでもマウスおよびキーボードが同期されない場合は、キーボードおよびマウスの同期をやり直してください。

3 ハードウェアの修理およびアップグレード

警告および注意

アップグレードを行う前に、このガイドに記載されている、該当する手順、注意、および警告を必ずよくお読みください。

⚠ 警告！ 感電、火傷、火災などの危険がありますので、以下の点に注意してください。

- 作業を行う前に、電源コードを電源コンセントから抜き、本体内部の温度が十分に下がっていることを確認してください。
- 電話回線のモジュラー ジャックを本体のリアパネルのネットワーク コネクタ (NIC) に接続しないでください。
- 電源コードの 3 ピン アタッチメント プラグを無効にしないでください。3 ピン アタッチメント プラグは製品を安全に使用するために欠かせないものです。
- 電源コードは、製品の近くの手が届きやすい場所にあるアース (接地) された電源コンセントに差し込んでください。

安全のために、電源コードや電源ケーブルの上には物を置かないでください。また、コードやケーブルは、誤って踏んだり足を引っかけたりしないように配線してください。電源コードや電源ケーブルを引っぱらないでください。コンセントから抜くときは、プラグの部分を持ってください。電源コードおよび電源コンセントの外観は国や地域によって異なります。

安全性を高めるため、『快適に使用していただくために』をお読みください。正しい作業環境の整え方や、作業をするときの姿勢、および健康上/作業上の習慣について説明しており、さらに、重要な電氣的/物理的安全基準についての情報も提供しています。このガイドは、HP の Web サイト、<http://www.hp.com/ergo/> (英語サイト) から[日本語]を選択してご覧になれます。

⚠ 警告！ 化粧だんす、本棚、棚、机、スピーカー、チェスト、またはカートなどの上に不適切にコンピューターを設置した場合、コンピューターが倒れて怪我をするおそれがあります。

コンピューターに接続するすべてのコードおよびケーブルについて、抜いたり、引っかかったり、人がつまずいたりしないように注意する必要があります。

⚠ 警告！ 内部には通電する部品や可動部品が含まれています。

アクセスパネルを取り外す前に、電源コードをコンセントから抜き、装置への外部電源の供給を遮断してください。

装置を再び外部電源に接続する前に、取り外したすべてのアクセスパネルを元の位置にしっかりと取り付けなおしてください。


⚠ 注意： 静電気の放電によって、コンピューターや別売の電気部品が破損することがあります。作業を始める前に、アースされた金属面に触れるなどして、身体にたまった静電気を放電してください。詳しくは、[66 ページの「静電気対策」](#)を参照してください。

コンピューターが電源コンセントに接続されていると、電源が入っていてもシステム ボードには常に電気が流れています。感電や内部部品の損傷を防ぐため、コンピューターのカバーを開ける場合は、電源を切るだけでなく、必ず事前に電源コードをコンセントから抜いてください。

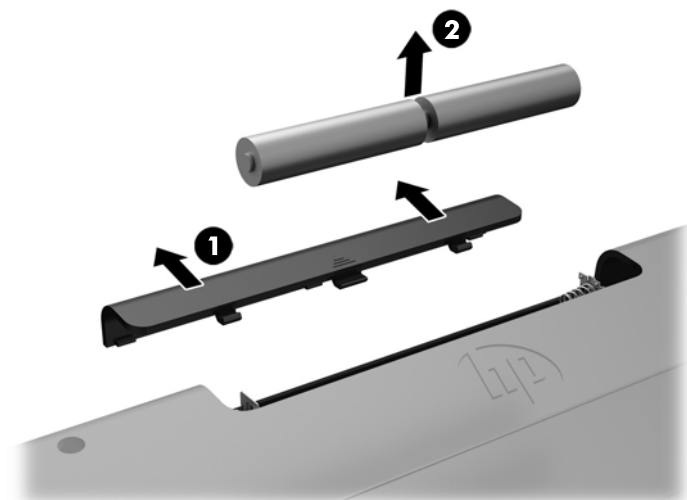
追加情報

ハードウェアコンポーネントの取り外しと取り付け、[コンピューターセットアップ (F10) ユーティリティ]、およびトラブルシューティングについて詳しくは、<http://www.hp.com/jp/>に掲載されている、お使いのモデルのコンピューターの『Maintenance and Service Guide』（英語版のみ）を参照してください。

オプションの無線キーボードおよびマウスの電池の取り外し

 **注記：**無線キーボードおよびマウスは別売のコンポーネントです。

無線キーボードの電池を取り外すには、キーボードの底面にある電池カバーを取り外し (1)、電池を持ち上げて電池収納部分から取り出します (2)。



無線マウスの電池を取り外すには、マウスの底面にある電池カバーを取り外し (1)、電池を持ち上げて電池収納部分から取り出します (2)。



メモリの取り外しおよび取り付け

お使いのコンピューターは、スモール アウトライン デュアル インライン メモリ モジュール (SODIMM) を装備しています。

SODIMM

システム ボード上にあるメモリ ソケットには、業界標準の SODIMM を 2 つまで取り付けることができます。これらのメモリ ソケットには、少なくとも 1 つの SODIMM が標準装備されています。

SODIMM の仕様

システムのパフォーマンスを最大まで高めるには、以下の仕様を満たす SODIMM を使用することをおすすめします。

	EliteOne 800 および ProOne 600	EliteOne 705	ProOne 400
SODIMM	1.2 ボルト DDR4-SDRAM SODIMM	1.5 ボルト DDR3-SDRAM SODIMM	1.35 ボルト DDR3L-SDRAM SODIMM
準拠	アンバッファード非 ECC PC4-10600 DDR4-2133 MHz 準拠	アンバッファード非 ECC PC3-10600 DDR3-1600 MHz 準拠	アンバッファード非 ECC PC3-10600 DDR3-1600 MHz 準拠
ピン	JEDEC (Joint Electronic Device Engineering Council) の仕様に準拠している業界標準 260 ピン	JEDEC (Joint Electronic Device Engineering Council) の仕様に準拠している業界標準 204 ピン	JEDEC (Joint Electronic Device Engineering Council) の仕様に準拠している業界標準 204 ピン
サポート	CAS レイテンシ 11 (DDR4 – 2133 MHz、11-11-11 タイミング) をサポートしている	CAS レイテンシ 11 (DDR3 – 1600 MHz、11-11-11 タイミング) をサポートしている	CAS レイテンシ 11 (DDR3 – 1600 MHz、11-11-11 タイミング) をサポートしている
スロット	2	2	2
最大メモリ	32 GB	16 GB	16 GB
サポート対象	1 ギガビット、2 ギガビット、および 4 ギガビットの非 ECC メモリ テクノロジ片面および両面 SODIMM		
注	サポートされない SODIMM メモリが取り付けられている場合、システムは正常に動作しません。x8 および x16 の SDRAM で構成された SODIMM がサポートされます。x4 SDRAM で構成された SODIMM はサポートされません。		

HP では、このコンピューター用のアップグレードメモリを提供しています。サポートされていない他社のメモリとの互換性の問題を回避するために、HP が提供するメモリを購入することをおすすめします。

SODIMM ソケットについて

取り付けられている SODIMM に応じて、システムは自動的にシングルチャネルモード、デュアルチャネルモード、またはフレックスモードで動作します。SODIMM チャネルの位置については、以下の表を参照してください。

位置	システムボード上の表記	チャネル
下部ソケット	SODIMM1	チャネル B
上部ソケット	SODIMM3	チャネル A

- 1つのチャネルの SODIMM ソケットにのみ SODIMM が取り付けられている場合、システムはシングルチャネルモードで動作します。
- チャネル A の SODIMM のメモリ容量とチャネル B の SODIMM のメモリ容量が異なる場合、システムはフレックスモードで動作します。フレックスモードでは、最も容量の小さいメモリが取り付けられているチャネルがデュアルチャネルに割り当てられるメモリの総量を表し、残りはシングルチャネルに割り当てられます。1つのチャネルのメモリ容量が他方よりも多い場合は、多い方をチャネル A に割り当てする必要があります。
- チャネル A の SODIMM の合計メモリ容量とチャネル B の SODIMM の合計メモリ容量が等しい場合、システムはより高性能なデュアルチャネルモードで動作します。
- どのモードでも、最高動作速度はシステム内で最も動作の遅い SODIMM によって決定されます。

SODIMM の取り付け

システムボードには2つのメモリソケットがあります。メモリモジュールを着脱するには、以下の操作を行います。

1. オプティカルディスクや USB フラッシュドライブなどのすべてのリムーバブルメディアをコンピューターから取り出します。
2. オペレーティングシステムを適切な手順でシャットダウンしてコンピューターの電源を切り、外付けデバイスの電源もすべて切ります。
3. 電源コードを電源コンセントから抜き、コンピューターからすべての外付けデバイスを取り外します。

△ 注意: メモリモジュールの取り付けまたは取り外しを行う場合は、電源コードを抜いて電力が放電されるまで約 30 秒待機してから作業する必要があります。コンピューターが電源コンセントに接続されている場合、電源が入っているかどうかに関係なく、メモリモジュールには常に電気が流れています。電気が流れている状態でメモリモジュールの着脱を行うと、メモリモジュールまたはシステムボードを完全に破損するおそれがあります。

4. コンピューターが開かれないように保護しているセキュリティデバイスをすべて取り外します。
5. コンピューターの前面を下向きにして安定した平らな場所に置きます。パネルおよび画面を傷やその他の損傷から守るため、下に毛布やタオル等の柔らかい布を敷くことをおすすめします。
6. 背面コネクタカバーを取り外します。

[30 ページの背面コネクタカバーの取り外し](#)を参照してください。

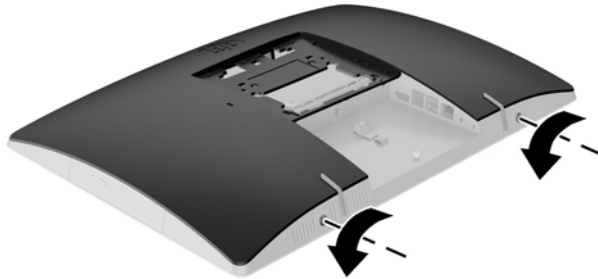
7. コンピューターに接続されているケーブルを取り外します。

[29 ページのケーブルの取り外し](#)を参照してください。

8. スタンドを取り外します。

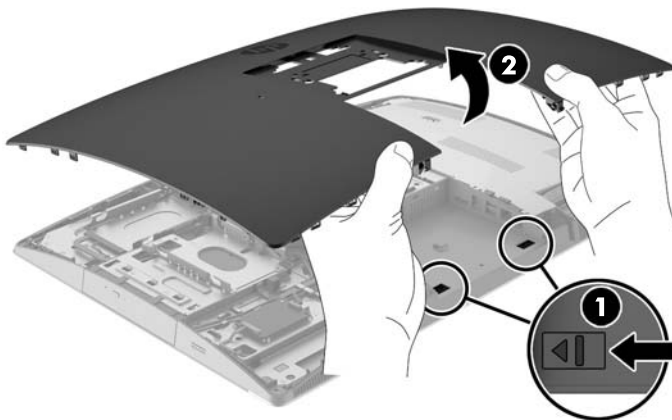
[20 ページのスタンドの取り付けおよび取り外し](#)を参照してください。

9. お使いのコンピューターのモデルが ProOne 400 の場合、マイナスドライバーまたはトルクスドライバーを使用して、アクセスパネル内のネジを左に 4 分の 1 回転させてアクセスパネルの固定を解除します。

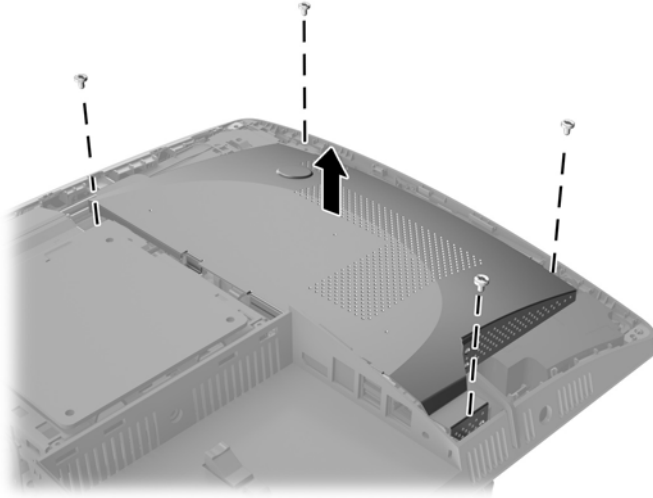


10. アクセスパネルのラッチを両側から向かい合うようにスライドさせます (1)。

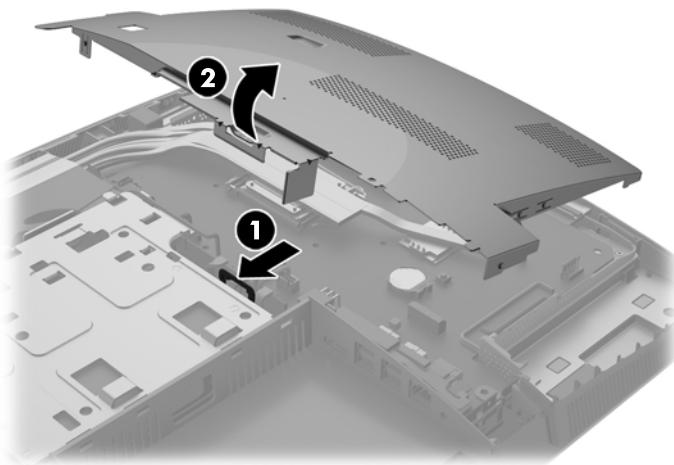
11. アクセスパネルを持ち上げてコンピューターから取り外します (2)。



12. お使いのコンピューターのモデルが ProOne 400 の場合、電磁干渉 (EMI) シールドをシャーシに固定している 4 つのネジを取り外します。



13. EMI シールドのラッチをコンピューターの中心方向に押し (1)、シールドをコンピューターから取り外します (2)。




14. メモリ モジュールを取り出すには、SODIMM の両側にある 2 つのラッチを外側に引っ張り (1)、ソケットから SODIMM を引き出します (2)。

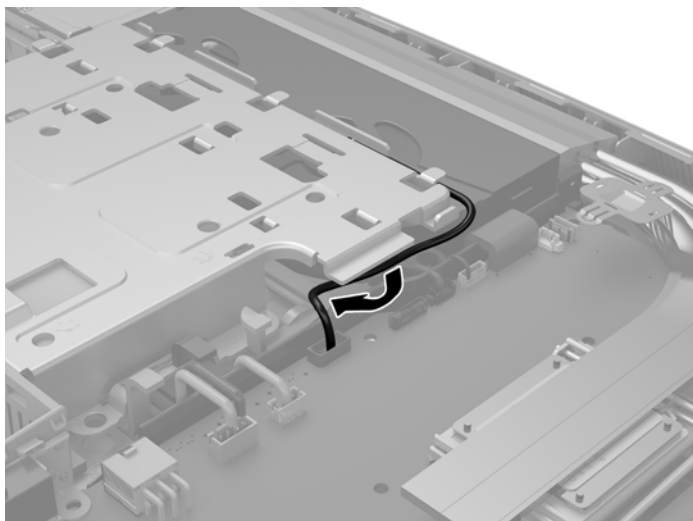


15. メモリ モジュールを取り付けるには、SODIMM を約 30°の角度でソケットに差し込み (1)、ラッチで正しい位置に固定されるまで SODIMM を押し下げます (2)。

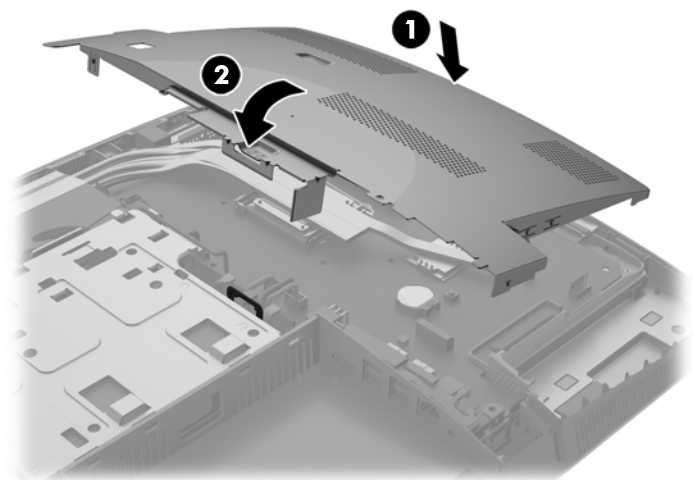


 **注記**：メモリ モジュールは、一方向にのみ取り付け可能です。メモリ モジュールのノッチ（切り込み）をソケットのタブ（凸部）に合わせます。

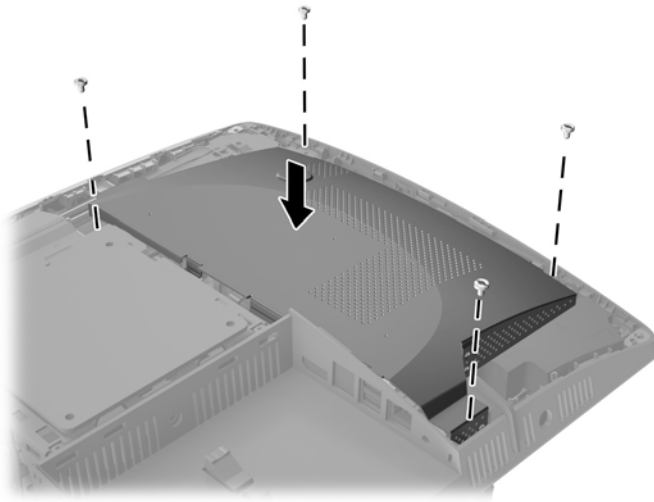
16. EMI シールドの周囲のケーブルは、EMI シールドにはさまれないよう邪魔にならない位置に配置してください。



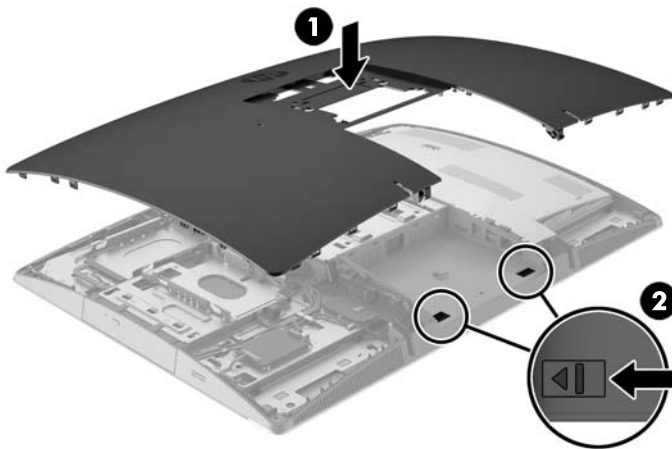
17. EMI シールドの右端の3つのタブをコンピューターのスロットにはめ込み (1)、ラッチが固定されるまでシールドの左側を押し下げます (2)。



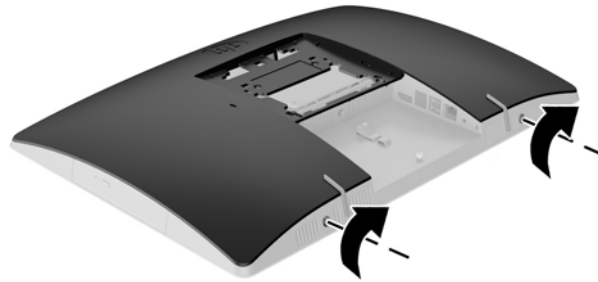
18. お使いのコンピューターのモデルが ProOne 400 の場合、EMI シールドをシャーシに固定するための 4 つのネジを取り付けます。



19. アクセスパネルを取り付けなおすために、背面コンネクタ コンパートメントの slots にラッチを合わせます。アクセスパネルを据え付け (1)、パネルのすべての側面のタブを押し込んでパネルを固定します。
20. ラッチをコンピューターの側面方向に押し込み、アクセスパネルをロックします (2)。



21. お使いのコンピューターのモデルが ProOne 400 の場合、マイナスドライバーまたはトルクスドライバーを使用して、アクセスパネル内のネジを右に 4 分の 1 回転させてアクセスパネルを固定します。



22. スタンドを取り付けます。
[20 ページのスタンドの取り付けおよび取り外し](#)を参照してください。
23. すべてのケーブルをコンピューターに接続します。
[27 ページのケーブルの接続](#)を参照してください。
24. 背面コネクタカバーを取り付けます。
[31 ページの背面コネクタカバーの取り付け](#)を参照してください。
25. アクセスパネルを取り外すときに外したセキュリティ デバイスをすべて取り付けなおします。
26. コンピューターを垂直に立てます。
27. 電源プラグを電源コンセントに差し込みます。
28. コンピューターの電源を入れます。コンピューターの電源を入れたときに、増設したメモリが自動的に認識されます。

RTC 電池の交換

RTC 電池は、システムボード上のファンの右下にあります。お使いのコンピューターに付属の電池は、リアルタイムクロックに電力を供給するためのものです。電池は消耗品です。電池を交換するときは、コンピューターに最初に取り付けられていたものと同等の電池を使用してください。コンピューターに付属の電池は、3V のボタン型リチウム電池です。

⚠ 警告！ お使いのコンピューターには、二酸化マンガンリチウム電池が内蔵されています。電池の取り扱いを誤ると、火災や火傷などの危険があります。けがをすることがないように、以下の点に注意してください。

- 電池を充電しないでください。
- 電池を 60°C を超える場所に放置しないでください。
- 電池を分解したり、つぶしたり、ショートさせたり、火中や水に投げたりしないでください。
- 電池を交換するときは、コンピューターに最初に取り付けられていたものと同等の電池を使用してください。

⚠ 注意： 電池を交換する前に、コンピューターの CMOS 設定のバックアップを作成してください。電池が取り出されたり交換されたりするときに、CMOS 設定がクリアされます。

静電気の放電によって、コンピューターやオプションの電子部品が破損することがあります。作業を始める前に、アース（接地）された金属面に触れるなどして、身体にたまった静電気を放電してください。

📖 注記： リチウム電池の寿命は、コンピューターを電源コンセントに接続することで延長できます。リチウム電池は、コンピューターが外部電源に接続されていない場合のみ使用されます。

HP では、使用済みの電子機器や HP 製インクカートリッジのリサイクルを推奨しています。日本でのリサイクルプログラムについて詳しくは、<http://www.hp.com/jp/hardwarerecycle/> を参照してください。日本以外の国や地域の HP でのリサイクルプログラムについて詳しくは、<http://www.hp.com/recycle/>（英語サイト）を参照してください。

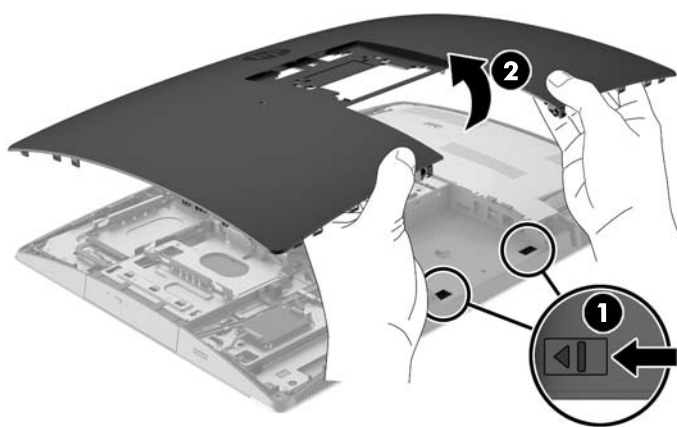
1. オプティカルディスクや USB フラッシュドライブなどのすべてのリムーバブルメディアをコンピューターから取り出します。
2. オペレーティングシステムを適切な手順でシャットダウンしてコンピューターを切り、外付けデバイスの電源もすべて切ります。
3. 電源コードを電源コンセントから抜き、コンピューターからすべての外付けデバイスを取り外します。
4. コンピューターが開かれないように保護しているセキュリティ デバイスをすべて取り外します。
5. コンピューターの前面を下向きにして安定した平らな場所に置きます。パネルおよび画面を傷やその他の損傷から守るため、下に毛布やタオル等の柔らかい布を敷くことをおすすめします。
6. 背面コネクタカバーを取り外します。
[30 ページの背面コネクタカバーの取り外し](#)を参照してください。
7. コンピューターに接続されているケーブルを取り外します。
[29 ページのケーブルの取り外し](#)を参照してください。
8. スタンドを取り外します。
[20 ページのスタンドの取り付けおよび取り外し](#)を参照してください。

9. お使いのコンピューターのモデルが ProOne 400 の場合、マイナスドライバーまたはトルクスドライバーを使用して、アクセスパネル内のネジを左に4分の1回転させてアクセスパネルの固定を解除します。

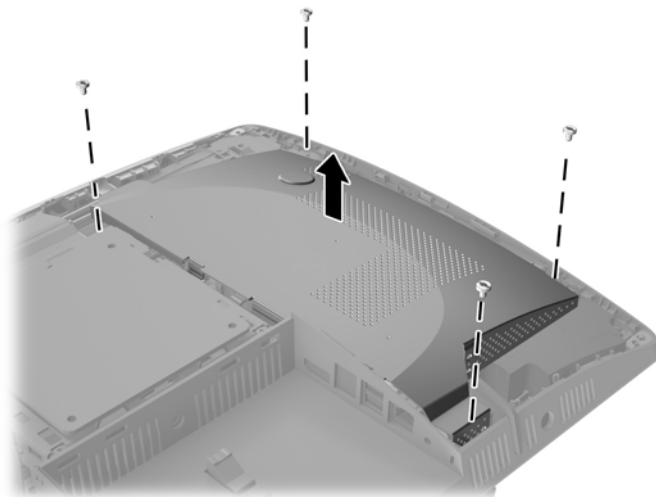


10. アクセスパネルのラッチを両側から向かい合うようにスライドさせます (1)。

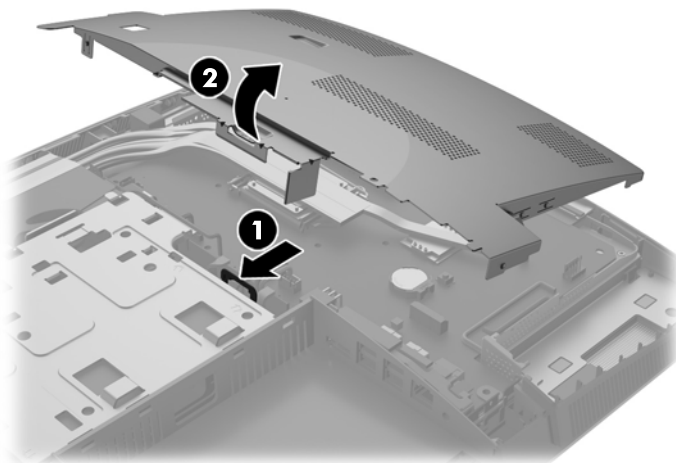
11. アクセスパネルを持ち上げてコンピューターから取り外します (2)。



12. お使いのコンピューターのモデルが ProOne 400 の場合、EMI シールドをシャーシに固定している 4 つのネジを取り外します。

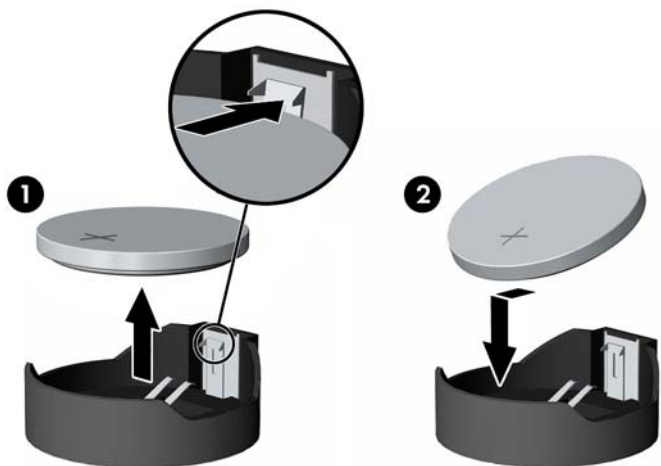


13. EMI シールドのラッチをコンピューターの中心方向に押し込んで EMI シールドの固定を解除し (1)、シールドをコンピューターから取り外します (2)。

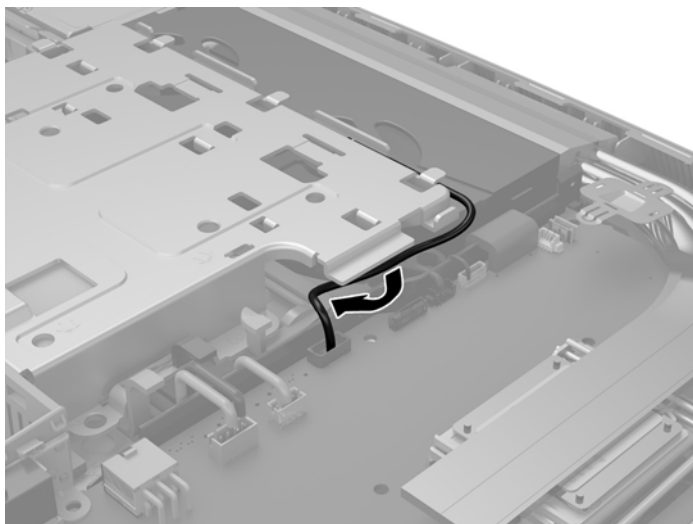


14. 電池をホルダーから取り出すために、電池の一方の端の上にある留め金を押し上げます。電池が持ち上がったら、ホルダーから取り出します (1)。

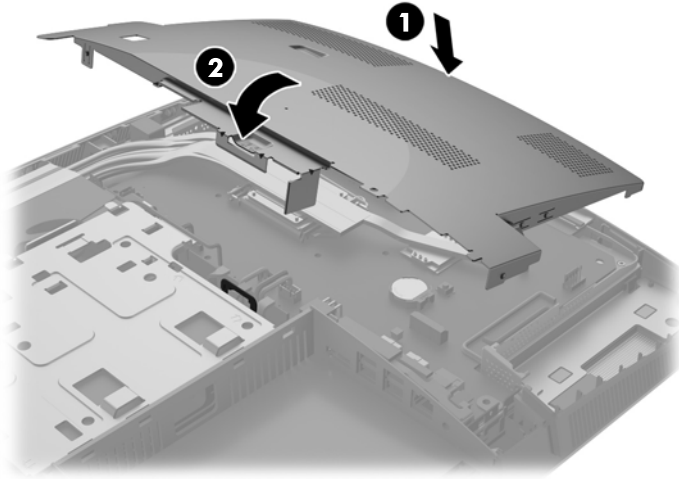
15. 新しい電池を装着するには、交換する電池を、[+]と書かれている面を上にしてホルダーにスライドさせて装着します。電池の一方の端が留め具の下に収まるまで、もう一方の端を押し下げます (2)。



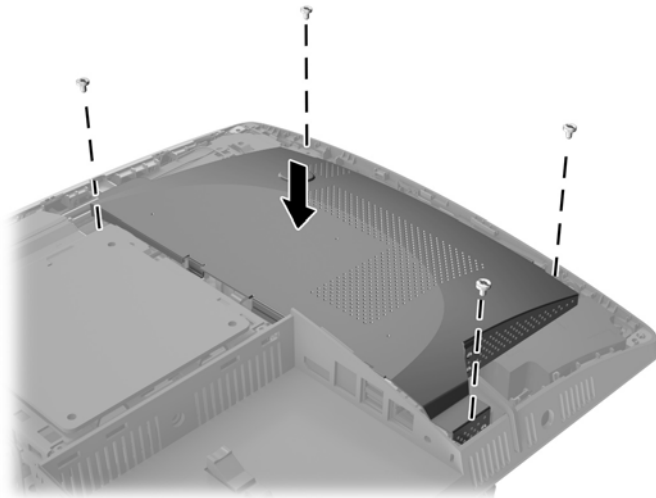
16. EMI シールドの周囲のケーブルは、EMI シールドにはされまれないよう邪魔にならない位置に配置してください。



17. EMI シールドの右端の3つのタブをコンピューターのスロットにはめ込み (1)、ラッチが固定されるまでシールドの左側を押し下げます (2)。

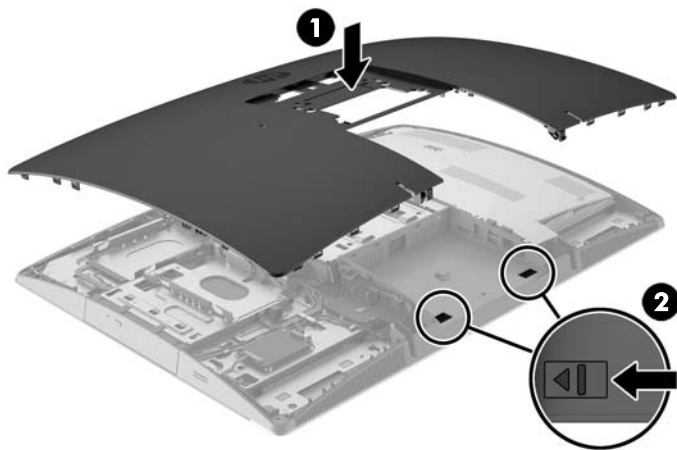


18. お使いのコンピューターのモデルが ProOne 400 の場合、EMI シールドをシャーシに固定するための4つのネジを取り付けます。



19. アクセスパネルを取り付けなおすために、背面コネクタ コンパートメントのスロットにラッチを合わせます。アクセスパネルを据え付け (1)、パネルのすべての側面のタブを押し込んでパネルを固定します。

20. ラッチをコンピューターの側面方向に押し込み、アクセスパネルをロックします (2)。



21. お使いのコンピューターのモデルが ProOne 400 の場合、マイナスドライバーまたはトルクスドライバーを使用して、アクセスパネル内のネジを右に4分の1回転させてアクセスパネルを固定します。



22. スタンドを取り付けます。
[20ページのスタンドの取り付けおよび取り外し](#)を参照してください。
23. すべてのケーブルをコンピューターに接続します。
[27ページのケーブルの接続](#)を参照してください。
24. 背面コネクタカバーを取り付けます。
[31ページの背面コネクタカバーの取り付け](#)を参照してください。
25. アクセスパネルを取り外すときに外したセキュリティデバイスすべてを取り付けなおします。
26. コンピューターを垂直に立てます。
27. 電源プラグを電源コンセントに差し込みます。

28. コンピューターの電源を入れます。
29. [コンピューターセットアップ (F10) ユーティリティ]を使用して、日付と時刻、パスワード、およびその他の必要なシステムセットアップを設定しなおします。

ドライブの交換

ハードディスクドライブの交換

ハードディスクドライブは、コンピューターの左側にあります。

2.5 インチのメインハードディスクドライブがコンピューターに1つ取り付けられています。一部のモデルでは、2.5 インチのセカンダリハードディスクドライブがオプティカルディスクドライブの上部に取り付けられています。

2.5 インチハードディスクドライブの取り外し

1. オプティカルディスクや USB フラッシュドライブなどのすべてのリムーバブルメディアをコンピューターから取り出します。
2. オペレーティングシステムを適切な手順でシャットダウンしてコンピューターの電源を切り、外付けデバイスの電源もすべて切ります。
3. 電源コードを電源コンセントから抜き、コンピューターからすべての外付けデバイスを取り外します。

⚠ 注意： システムが電源コンセントに接続されている場合、電源が入っているかどうかに関係なく、システムボードには常に電気が流れています。感電やコンピューターの内部部品の損傷を防ぐため、必ず電源コードを抜いてください。

4. コンピューターの前面を下向きにして安定した平らな場所に置きます。パネルおよび画面を傷やその他の損傷から守るため、下に毛布やタオル等の柔らかい布を敷くことをおすすめします。
5. コンピューターが開かれないように保護しているセキュリティデバイスをすべて取り外します。
6. 背面コネクタカバーを取り外します。

[30 ページの背面コネクタカバーの取り外し](#)を参照してください。

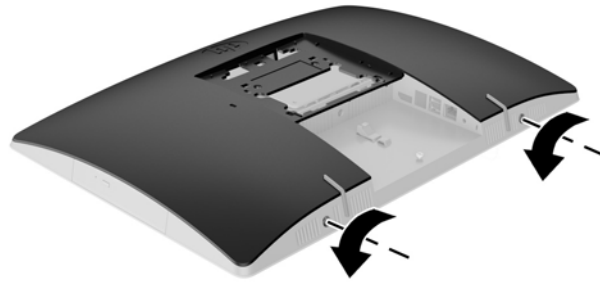
7. コンピューターに接続されているケーブルを取り外します。

[29 ページのケーブルの取り外し](#)を参照してください。

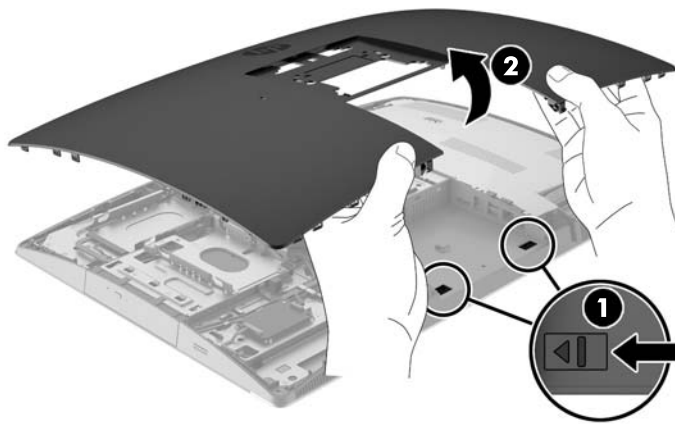
8. スタンドを取り外します。

[20 ページのスタンドの取り付けおよび取り外し](#)を参照してください。

9. お使いのコンピューターのモデルが ProOne 400 の場合、マイナスドライバーまたはトルクスドライバーを使用して、アクセスパネル内のネジを左に4分の1回転させてアクセスパネルの固定を解除します。

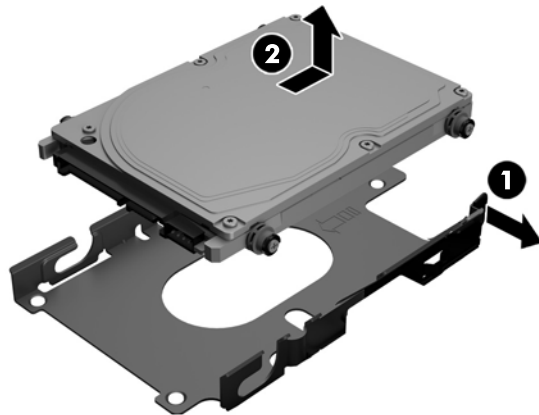


10. アクセスパネルのラッチを両側から向かい合うようにスライドさせます (1)。
11. アクセスパネルを持ち上げてコンピューターから取り外します (2)。

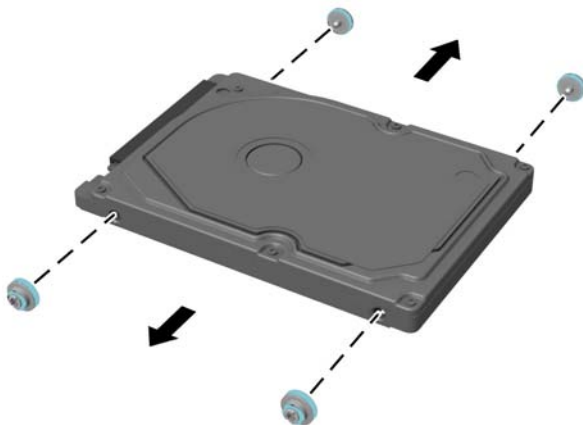


12. ハードディスクドライブから電源ケーブルおよびデータケーブルを取り外します。
13. ハードディスクドライブのケージラッチを2.5インチハードディスクドライブから離す方向に引き、ドライブの固定を解除します (1)。

14. ハードディスクドライブをラッチの方向にスライドさせ、ハードディスクドライブをドライブケースから持ち上げます (2)。



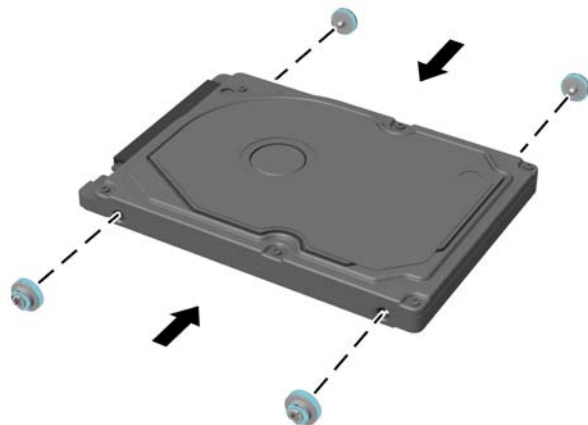
15. 2.5 インチハードディスクドライブから4本の取り付けネジを外します。交換用ドライブを取り付けるために使用する青色の耐振動用ゴムが、ネジに付いていることを確認してください。



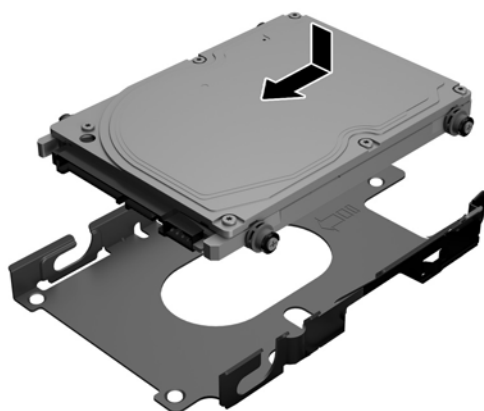
ハードディスクドライブを取り付ける方法について詳しくは、[59 ページの 2.5 インチハードディスクドライブの取り付け](#)を参照してください。

2.5 インチ ハードディスク ドライブの取り付け

1. 耐振動用ゴムが付いた 4 つの取り付けネジを 2.5 インチのハードディスク ドライブに取り付けます。

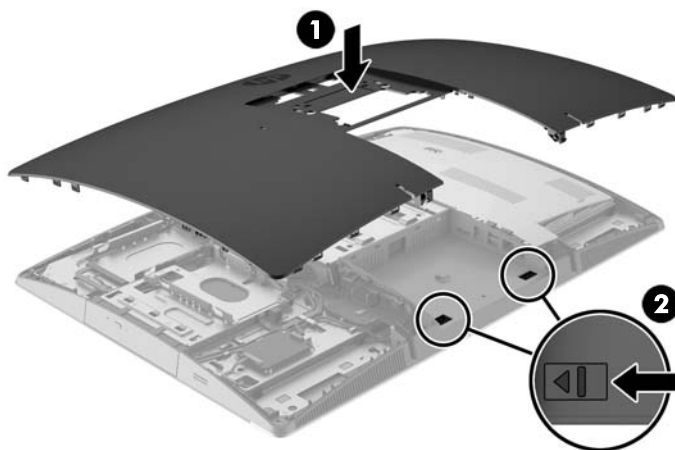


2. ドライブケースの横にある電源ケーブルおよびデータ ケーブルにコネクタが向き合うように、2.5 インチ ドライブをドライブケースの上に置きます。
3. 2.5 インチのハードディスク ドライブをドライブケースに入れ、ケーブル方向にスライドさせて正しい位置に固定します。



4. 電源ケーブルおよびデータ ケーブルをハードディスク ドライブに接続します。
5. アクセスパネルを取り付けなおすために、背面コネクタ コンパートメントのスロットにラッチを合わせます。アクセスパネルを据え付け (1)、パネルのすべての側面のタブを押し込んでパネルを固定します。

6. ラッチをコンピューターの側面方向に押し込み、アクセスパネルをロックします (2)。



7. お使いのコンピューターのモデルが ProOne 400 の場合、マイナスドライバーまたはトルクスドライバーを使用して、アクセスパネル内のネジを右に 4 分の 1 回転させてアクセスパネルを固定します。



8. スタンドを取り付けます。
[20 ページのスタンドの取り付けおよび取り外し](#)を参照してください。
9. すべてのケーブルをコンピューターに接続します。
[27 ページのケーブルの接続](#)を参照してください。
10. 背面コネクタカバーを取り付けます。
[31 ページの背面コネクタカバーの取り付け](#)を参照してください。
11. アクセスパネルを取り外すときに外したセキュリティ デバイスをすべて取り付けなおします。
12. コンピューターを垂直に立てます。

13. 電源プラグを電源コンセントに差し込みます。
14. コンピューターの電源を入れます。

光学ドライブの交換

光学ドライブは、コンピューターの背面から見て左側にあるハードディスクドライブの上にあります。

1. 光学ディスクや USB フラッシュ ドライブなどのすべてのリムーバブルメディアをコンピューターから取り出します。
2. オペレーティングシステムを適切な手順でシャットダウンしてコンピューターの電源を切り、外付けデバイスの電源もすべて切ります。
3. 電源コードを電源コンセントから抜き、コンピューターからすべての外付けデバイスを取り外します。

△ 注意：システムが電源コンセントに接続されている場合、電源が入っているかどうかに関係なく、システムボードには常に電気が流れています。感電やコンピューターの内部部品の損傷を防ぐため、必ず電源コードを抜いてください。

4. コンピューターが開かれないように保護しているセキュリティ デバイスをすべて取り外します。
5. コンピューターの前面を下向きにして安定した平らな場所に置きます。パネルおよび画面を傷やその他の損傷から守るため、下に毛布やタオル等の柔らかい布を敷くことをおすすめします。
6. 背面コネクタカバーを取り外します。

[30 ページの背面コネクタカバーの取り外し](#)を参照してください。

7. コンピューターに接続されているケーブルを取り外します。

[29 ページのケーブルの取り外し](#)を参照してください。

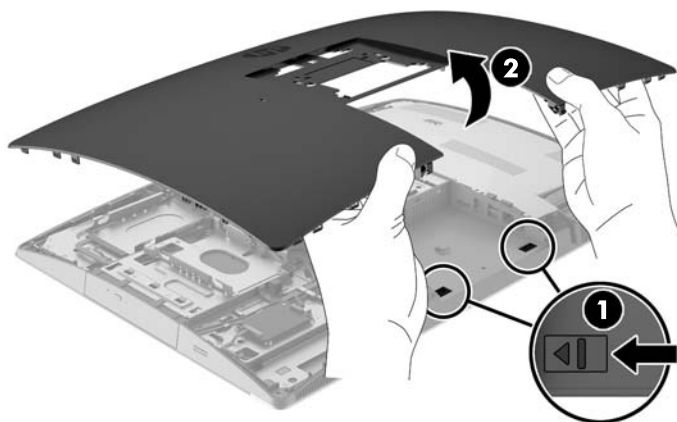
8. スタンドを取り外します。

[20 ページのスタンドの取り付けおよび取り外し](#)を参照してください。

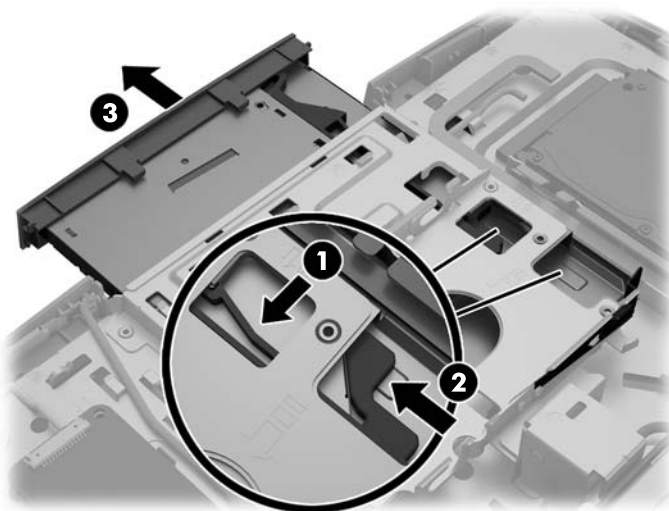
9. お使いのコンピューターのモデルが ProOne 400 の場合、マイナスドライバーまたはトルクスドライバーを使用して、アクセスパネル内のネジを左に 4 分の 1 回転させてアクセスパネルの固定を解除します。



10. アクセスパネルのラッチを両側から向かい合うようにスライドさせます (1)。
11. アクセスパネルを持ち上げてコンピューターから取り外します (2)。

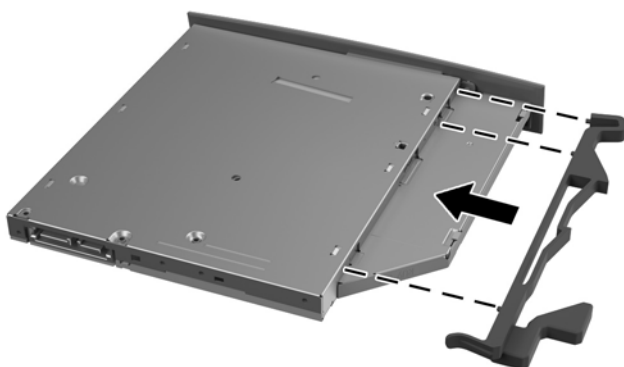



12. タブを押したまま (1)、光学ディスクドライブのエンクロージャの背面にあるラッチを押し (2)、ドライブを外にスライドさせてシャーシから取り出します (3)。




13. ラッチを光学ディスクドライブから引き抜きます。

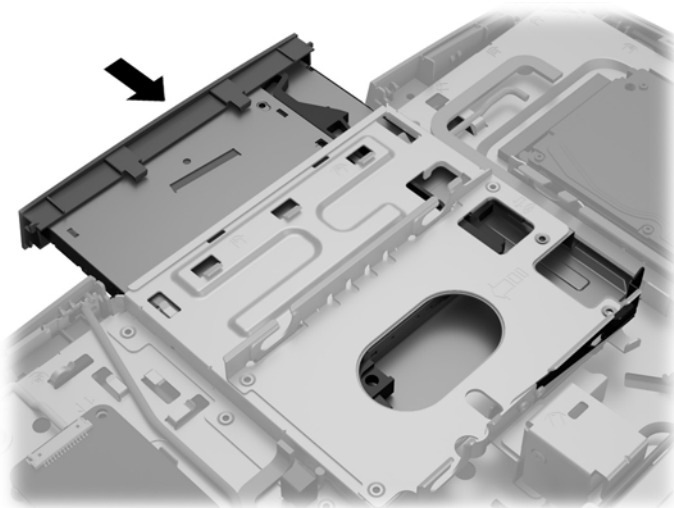
14. ラッチの3つのピンと新しいオプティカルディスクドライブの穴の位置を合わせ、ラッチを新しいドライブにしっかりと押し込みます。



 **注記：**元のオプティカルディスクドライブから取り外したラッチを再利用する必要があります。

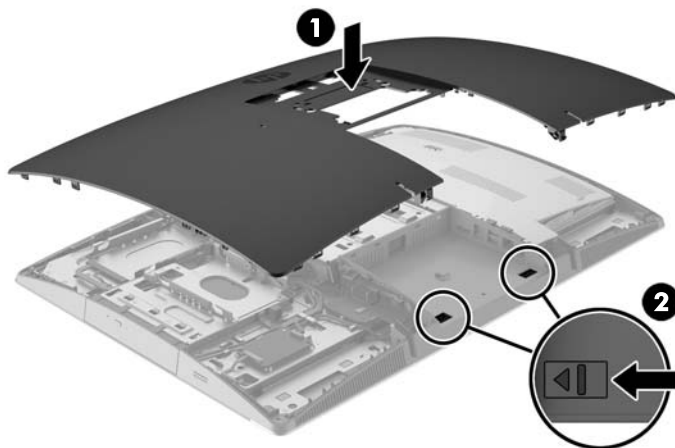
15. 新しいオプティカルディスクドライブとコンピューター側面の開口部の位置を合わせます。ドライブが正しい位置に固定されるまで、ドライブをしっかりと押し込みます。

 **注記：**オプティカルディスクドライブは、一方向にのみ取り付け可能です。



16. アクセスパネルを取り付けなおすために、背面コネクタコンパートメントのスロットにラッチを合わせます。アクセスパネルを据え付け(1)、パネルのすべての側面のタブを押し込んでパネルを固定します。

17. ラッチをコンピューターの側面方向に押し込み、アクセスパネルをロックします (2)。



18. お使いのコンピューターのモデルが ProOne 400 の場合、マイナスドライバーまたはトルクスドライバーを使用して、アクセスパネル内のネジを右に 4 分の 1 回転させてアクセスパネルを固定します。



19. スタンドを取り付けます。
[20 ページのスタンドの取り付けおよび取り外し](#)を参照してください。
20. すべてのケーブルをコンピューターに接続します。
[27 ページのケーブルの接続](#)を参照してください。
21. 背面コネクタカバーを取り付けます。
[31 ページの背面コネクタカバーの取り付け](#)を参照してください。
22. アクセスパネルを取り外すときに外したセキュリティ デバイスをすべて取り付けなおします。
23. コンピューターを垂直に立てます。

24. 電源プラグを電源コンセントに差し込みます。
25. コンピューターの電源を入れます。

A 静電気対策

人間の指などの導電体からの静電気の放電によって、システムボードなど静電気に弱いデバイスが損傷する可能性があります。このような損傷によって、デバイスの耐用年数が短くなる可能性があります。

静電気による損傷の防止

静電気による損傷を防ぐには、以下のことを守ってください。


- 運搬時や保管時は、静電気防止用のケースに入れ、手で直接触れることは避けます。
- 静電気に弱い部品は、静電気防止措置のなされている作業台に置くまでは、専用のケースに入れたままにしておきます。
- 部品をケースから取り出す前に、まずケースごとアース（接地）されている面に置きます。
- ピン、リード線、および回路には触れないようにします。
- 静電気に弱い部品に触れるときには、常に自分の身体に対して適切なアースを行います。

アース（接地）の方法

アースにはいくつかの方法があります。静電気に弱い部品を取り扱うときには、以下のうち1つ以上の方法でアースを行ってください。

- すでにアースされているコンピューターのシャーシにアースバンドをつなぎます。アースバンドは柔軟な帯状のもので、アースコード内の抵抗は、 $1\text{M}\Omega \pm 10\%$ です。アースを正しく行うために、アースバンドは肌に密着させてください。
- 立って作業する場合には、かかとやつま先にアースバンドを付けます。導電性または静電気拡散性の床の場合には、両足にアースバンドを付けます。
- 磁気を帯びていない作業用具を使用します。
- 折りたたみ式の静電気防止マットが付いた、携帯式の作業用具もあります。

上記のような、適切にアースを行うための器具がない場合は、HPのサポート窓口にお問い合わせください。

 **注記：** 静電気について詳しくは、HPのサポート窓口にお問い合わせください。

B コンピューター操作のガイドラインおよび手入れと運搬時の注意

コンピューター操作のガイドラインおよび手入れに関する注意

コンピューターのセットアップや手入れを適切に行えるよう、以下のことを守ってください。

- 湿度の高い所や、直射日光の当たる場所、または極端に温度が高い場所や低い場所には置かないでください。
- コンピューターは、安定した平らな場所に設置してください。また、通気が確保されるよう、コンピューターの通気孔のある面に、少なくとも 10.2 cm の空間を確保してください。
- 内部への通気が悪くなるので、絶対にコンピューターの通気孔をふさがないでください。
- コンピューターのアクセスパネルを取り外したまま使用しないでください。
- コンピューターが複数ある場合は、互いの排気や熱の影響を受けない場所にそれぞれ設置してください。
- コンピューターを別のエンクロージャに入れて操作する場合、吸気孔および排気孔がエンクロージャに装備されている必要があります。また、この場合にも上記のガイドラインを守ってください。
- コンピューター本体やキーボードに液体をこぼさないでください。
- 通気孔は、絶対にふさがないでください。
- スリープ状態を含む、オペレーティングシステムやその他のソフトウェアの電源管理機能をインストールまたは有効にしてください。
- コンピューターを清掃するときは、以下の作業を行う前に、コンピューターの電源を切って電源コードを抜き取ってください。
 - コンピューターやモニターの外側、およびキーボードの表面が汚れたら、水で軽く湿らせた柔らかい布で汚れを落とした後、糸くずの出ない柔らかい布で拭いて乾かしてください。洗剤などを使用すると、変色や変質の原因となります。
 - ベンゼン、シンナーなどの揮発性の溶剤など、石油系の物質を含むクリーナーを画面やキャビネットの清掃に使用しないでください。これらの化学物質を使用すると、コンピューターが損傷するおそれがあります。
 - 画面は、清潔で柔らかい、静電気防止加工のされた布で拭いてください。汚れが落ちにくい場合は、水とイソプロピルアルコールを 50 : 50 に混合した溶液を使用します。布にクリーナーをスプレーし、湿らせた布を使用して画面をそっと拭きます。決して、クリーナーを画面に直接吹きかけないでください。クリーナーがベゼル裏側に入ってしまう、電子部品が損傷するおそれがあります。
 - コンピューターの通気孔やモニター上部の通気孔は、ときどき掃除してください。糸くずやほこりなどの異物によって通気孔がふさがれると、内部への通気が悪くなり、故障の原因となります。

オプティカルディスクドライブの使用上の注意

オプティカルドライブの操作や手入れは、以下の項目に注意して行ってください。


- 操作中はドライブを動かさないでください。データ読み取り中にドライブを動かすと誤動作することがあります。
- 急に温度が変化するとドライブ内に結露することがあるので気をつけてください。ドライブの電源が入っているときに急な温度変化があった場合は、1時間以上待ってから電源を切ってください。すぐに操作すると、誤動作が起きることがあります。
- ドライブは高温多湿、直射日光が当たる場所、または機械の振動がある所には置かないでください。

△注意：ドライブの中に異物や液体が入ってしまった場合は、直ちにコンピューターの電源を切り、電源コードを電源コンセントから抜いて、HPのサポート窓口にて点検を依頼してください。


運搬時の注意

コンピューターを運搬する場合は、以下のことを守ってください。

1. ハードディスクドライブ内のファイルをオプティカルメディアまたは外付けUSBドライブにバックアップします。バックアップをとったメディアは、保管中または運搬中に、電気や磁気の影響を受けないように注意します。

 **注記：**ハードディスクドライブは、システムの電源が切れると自動的にロックされます。

2. すべてのリムーバブルメディアを取り出して保管します。
3. コンピューターと外部装置の電源を切ります。
4. 電源コンセントから電源コードを抜き取り、次にコンピューターからも抜き取ります。
5. 外付けデバイスの電源コードを電源コンセントから抜いてから、外付けデバイスからも抜き取ります。

 **注記：**すべてのボードがスロットにしっかりとめ込まれていることを確認します。


6. お買い上げのときにコンピューターが入っていた箱か、同等の箱に保護材を十分に詰め、コンピューターとキーボードやマウスなどの外部システム装置を入れて梱包します。

C ユーザー サポート

HP は、単体で、または適切な補助ツールや支援技術と組み合わせることにより、お身体の不自由な方にもお使いいただけるような製品やサービスを設計、製造、販売しています。

サポートされている支援技術

HP 製品は、さまざまなオペレーティング システム支援技術に対応しており、また、その他の支援技術と組み合わせて機能するようにも設定できます。支援機能に関してより詳しい情報を確認するには、お使いのデバイスの検索機能を使用してください。

 **注記**：特定の支援技術製品について詳しくは、その製品のサポート窓口にお問い合わせください。

HP のサポート窓口へのお問い合わせ

このユーザー ガイドで提供されている情報で問題に対処できない場合は、以下の Web サイト、または日本向けの日本語モデル製品に付属の『サービスおよびサポートを受けるには』に記載されている HP のサポート窓口にお問い合わせください。日本でのサポートについては、<http://www.hp.com/jp/contact/> を参照してください。日本以外の国や地域でのサポートについては、http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html（英語サイト）から該当する国や地域、または言語を選択してください。

索引

記号/数字

- 400 14
 - 前面の各部 14
 - 側面の各部 15
 - 内部部品 17
 - 背面の各部 16
- 600 10
 - 前面の各部 10
 - 側面の各部 11
 - 内部部品 13
 - 背面の各部 12
- 705 6
 - 前面の各部 6
 - 側面の各部 7
 - 内部部品 9
 - 背面の各部 8
- 800 2
 - 前面の各部 2
 - 側面の各部 3
 - 内部部品 5
 - 背面の各部 4

D

- DisplayPort ビデオ アダプター、接続 28

E

- EliteOne 705 6
 - 前面の各部 6
 - 側面の各部 7
 - 内部部品 9
 - 背面の各部 8
- EliteOne 800 2
 - 前面の各部 2
 - 側面の各部 3
 - 内部部品 5
 - 背面の各部 4

M

- Microsoft Certificate of Authenticity ラベル 19

P

- ProOne 400 14
 - 前面の各部 14
 - 側面の各部 15
 - 内部部品 17
 - 背面の各部 16
- ProOne 600 10
 - 前面の各部 10
 - 側面の各部 11
 - 内部部品 13
 - 背面の各部 12

S

- SODIMM
 - 位置 43
 - 識別 43
 - 仕様 42

V

- VESA 準拠の取り付け穴 25

あ

- アースの方法 66

い

- イーゼル スタンド
 - 調整 35
 - 取り付け 24
 - 取り外し 24

う

- 運搬時の注意 68

お

- オプティカル ディスク ドライブ
 - 交換 61
 - 使用上の注意 68

か

- 回転 33
- 各部
 - 前面、400 14
 - 前面、600 10
 - 前面、705 6

- 前面、800 2
- 側面、400 15
- 側面、600 11
- 側面、705 7
- 側面、800 3
- 背面、400 16
- 背面、600 12
- 背面、705 8
- 背面、800 4

き

- キーボード
 - 機能 18
 - 電池の取り外し 41
 - 無線の同期 37
- 機能
 - 概要 1
 - キーボード 18

け

- 警告および注意 40
- ケーブル 27
 - 接続 27
 - 取り外し 29

こ

- コネクタ カバー 30
 - 取り付け 31
 - 取り外し 30
- コンピューター操作のガイドライン 67
- コンピューターの取り付け 25

し

- 仕様、メモリ 42
- シリアル番号 19

す

- スタンド 20
 - イーゼル、取り付け 24
 - イーゼル、取り外し 24
 - 高さ調節可能な、取り付け 22
 - 高さ調節可能な、取り外し 23

リクライニング、取り付け	21	取り付け		最大	42
リクライニング、取り外し	21	2.5 インチハードディスクドライブ	59	仕様	42
せ		光学ディスクドライブ	61	スロット	42
静電気対策、損傷の防止	66	ガイドライン	40	取り付け	43
製品名および製品番号、コンピューター	19	ディスプレイ	28	取り外し	43
セキュリティ		電池	50	ゆ	
背面コネクタカバー	30	メモリ	43	ユーザーサポート	69
背面コネクタカバー、取り付け	31	取り外し		ら	
背面コネクタカバー、取り外し	30	2.5 インチハードディスクドライブ	56	ラベル	
接続		光学ディスクドライブ	61	Certificate of Authenticity	18
ケーブル	27	ケーブル	29	Microsoft Certificate of Authenticity	19
ディスプレイ	28	電源コード	29	位置	18
電源コード	27	は		サービス	18
セットアップ、順序	20	ハードディスクドライブ		シリアル番号	18, 19
た		2.5 インチ	56	り	
高さ調節可能なスタンド		2.5 インチ、取り付け	59	リクライニングスタンド	
調整	33	2.5 インチ、取り外し	56	調整	32
取り付け	22	交換	56	取り付け	21
取り外し	23	自己暗号化	56	取り外し	21
つ		種類	56	ろ	
追加情報	41	ソリッドステート	56	ロック	
通気のガイドライン	67	背面コネクタカバー	30	ケーブル	35
て		取り付け	31	背面コネクタカバー	30
ディスプレイの接続	28	取り外し	30	ロックケーブル	35
電源		ふ			
接続	36	部品			
切断	29, 37	内部、400	17		
電源コード		内部、600	13		
接続	27	内部、705	9		
取り外し	29	内部、800	5		
電池		ま			
交換	50	マウス			
取り外し	50	電池の取り外し	41		
と		無線の同期	37		
ドライブ		む			
2.5 インチ、取り付け	59	無線キーボードおよびマウスの同期	37		
2.5 インチ、取り外し	56	め			
光学ディスクドライブ、交換	61	メモリ			
種類	56	SODIMM の仕様	42		